



不真面目勇者の  
再教育

原作：F(えふ)  
漫画：べってい

Do not repost our works in any case.  
We will provide English version  
on pixiv fanbox and FAKKU!  
<https://tsf.fanbox.cc/>  
<https://www.fakku.net/publishers/tsf-no-f>





この世界の  
創造主である神が  
造ったとされている  
七つの武器

俺 アレックスは  
その一つである聖剣に選ばれ  
勇者の一人となった

俺たちが勇者に選ばれたのと  
ときを同じくして  
この世界と異界をつなぐ  
ゲートが現れた

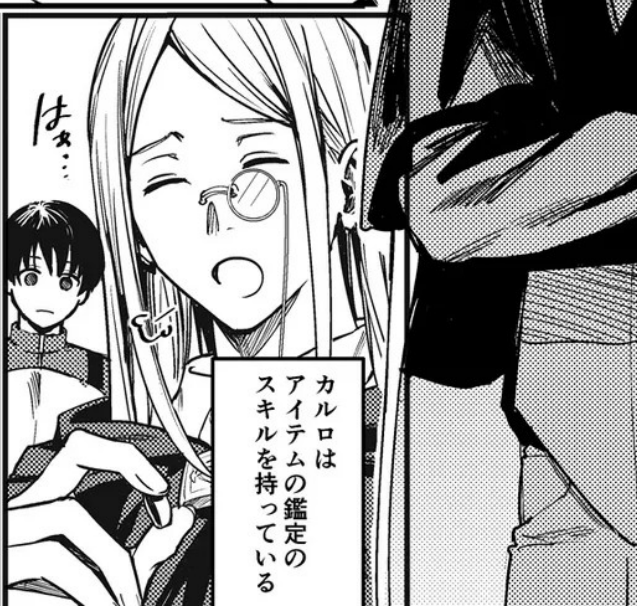
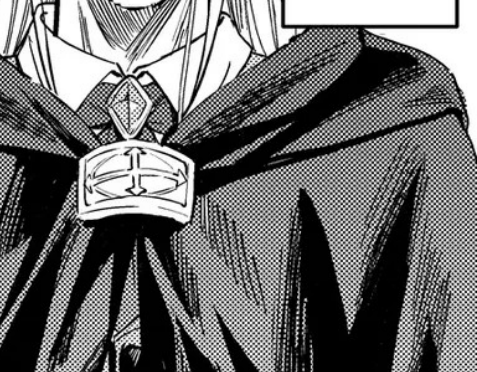
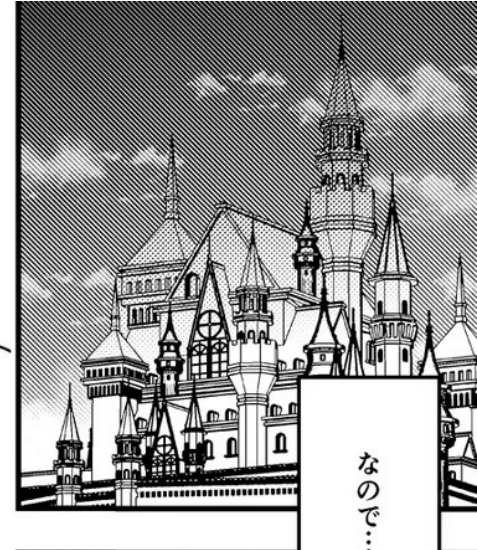
異界は我々の住む世界と  
重なり合うように  
いくつもあるらしい

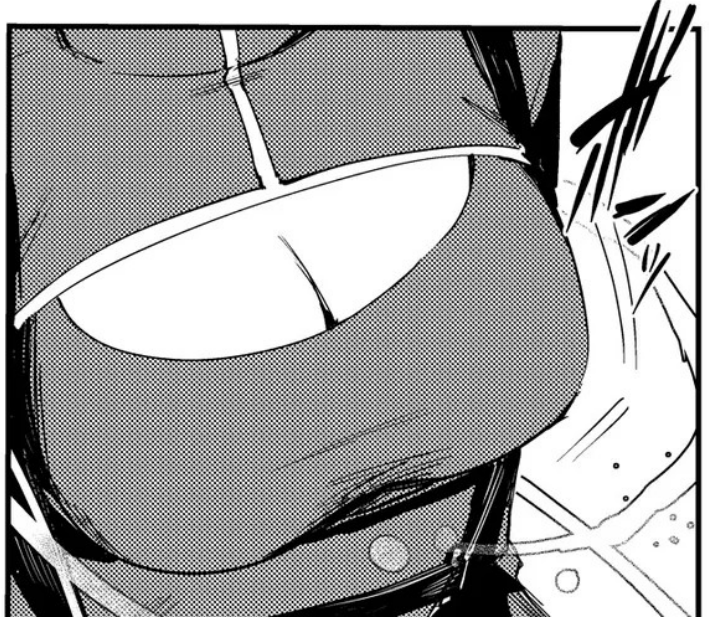
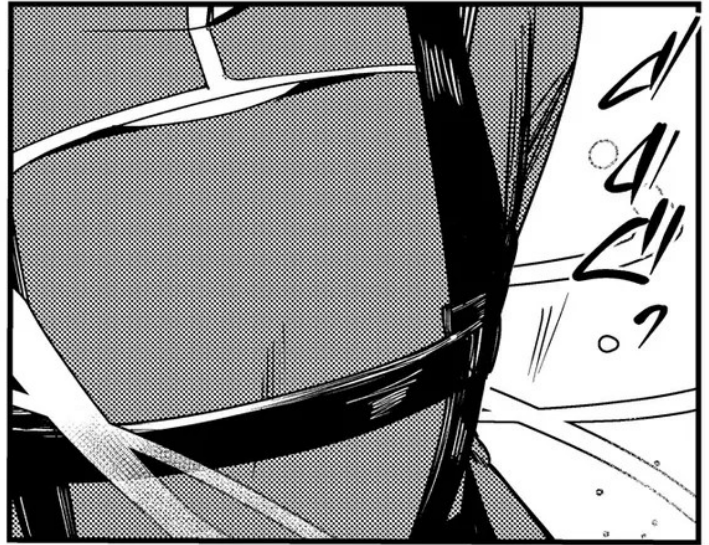
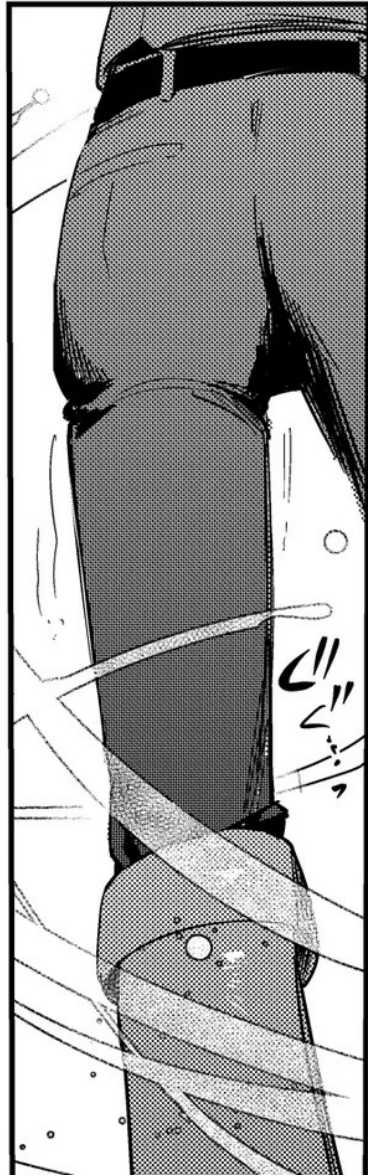
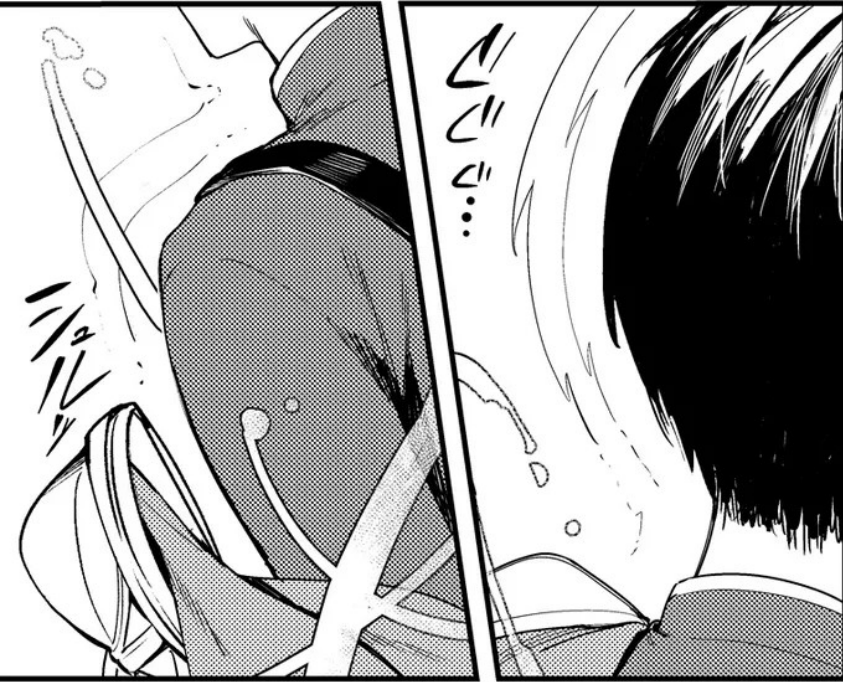
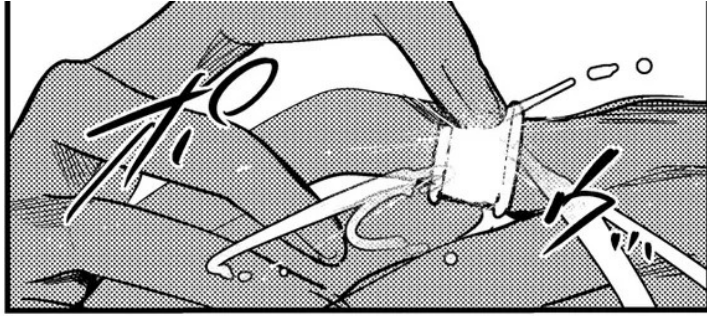
俺たち勇者は  
ゲートの向こう側の  
異界の勇者と戦い

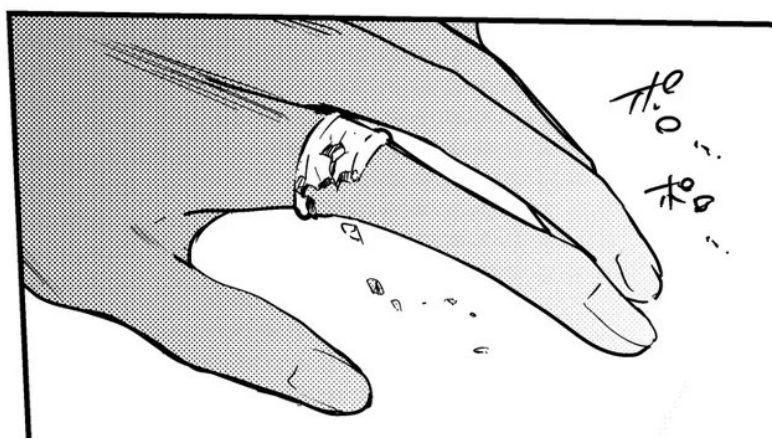
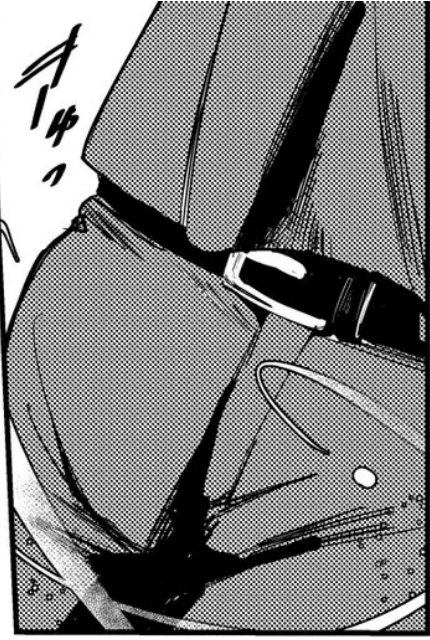
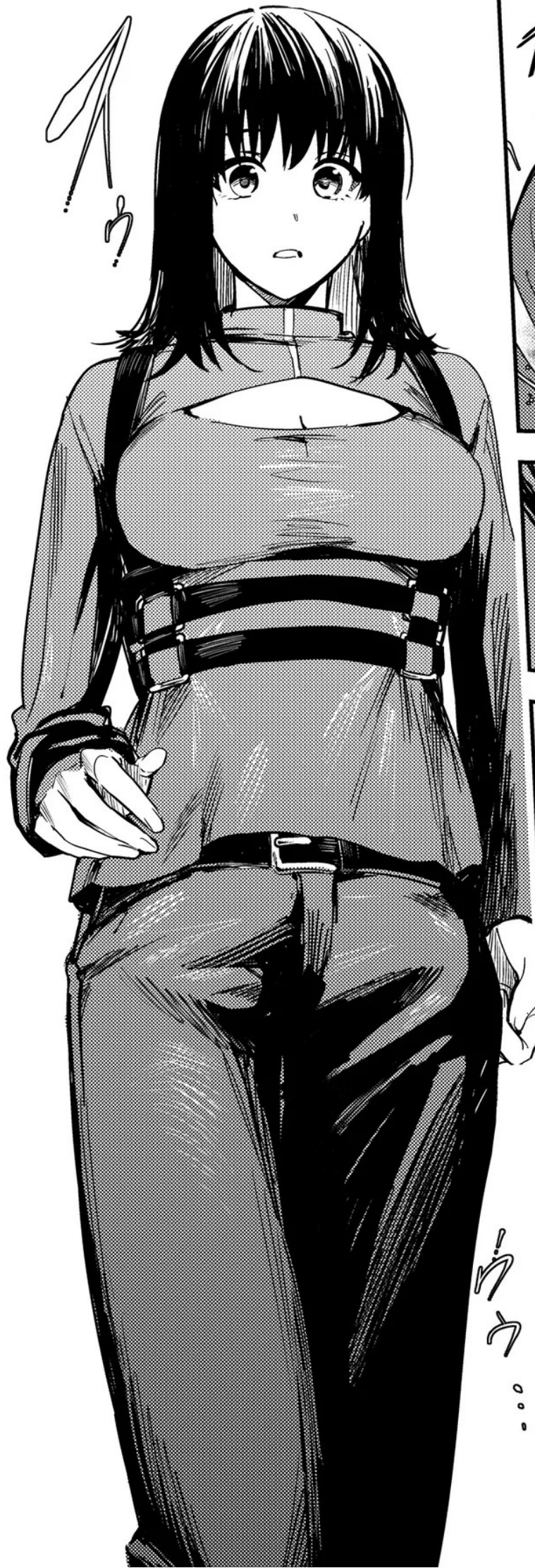
異界を滅ぼすことが  
使命とされている

ゲート周辺での戦いにより  
異界の勇者の二人を打ち倒したため  
戦況は優位に進んでいる





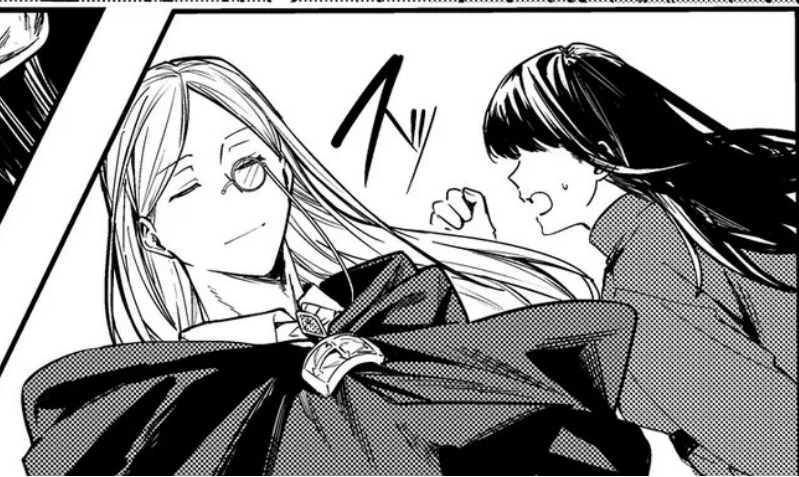
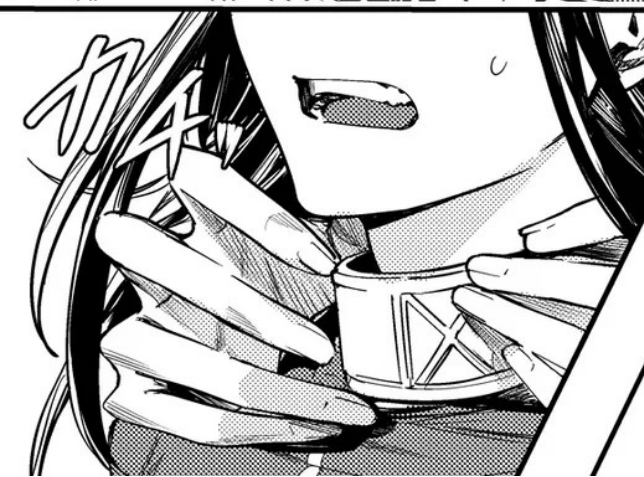






職業:勇者 LV10  
性別:女  
HP:35  
MP:20  
力:15  
素早さ:15  
守備:20  
魔力:20

職業:勇者 LV25  
性別:男  
HP:90  
MP:40  
力:50  
素早さ:30  
守備:60  
魔力:40





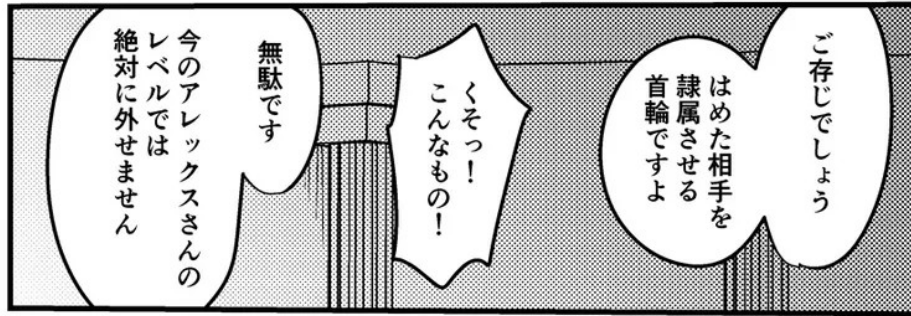
敵国の人間や罪人以外に  
これをはめることは  
禁じられているだろう！

ふふっ  
ここは異界ですし

ばれなければ  
問題ありません



こ…  
これは…



ご存じでしょう  
はめた相手を  
隷属させる  
首輪ですよ

くそっ！  
こんなもの！

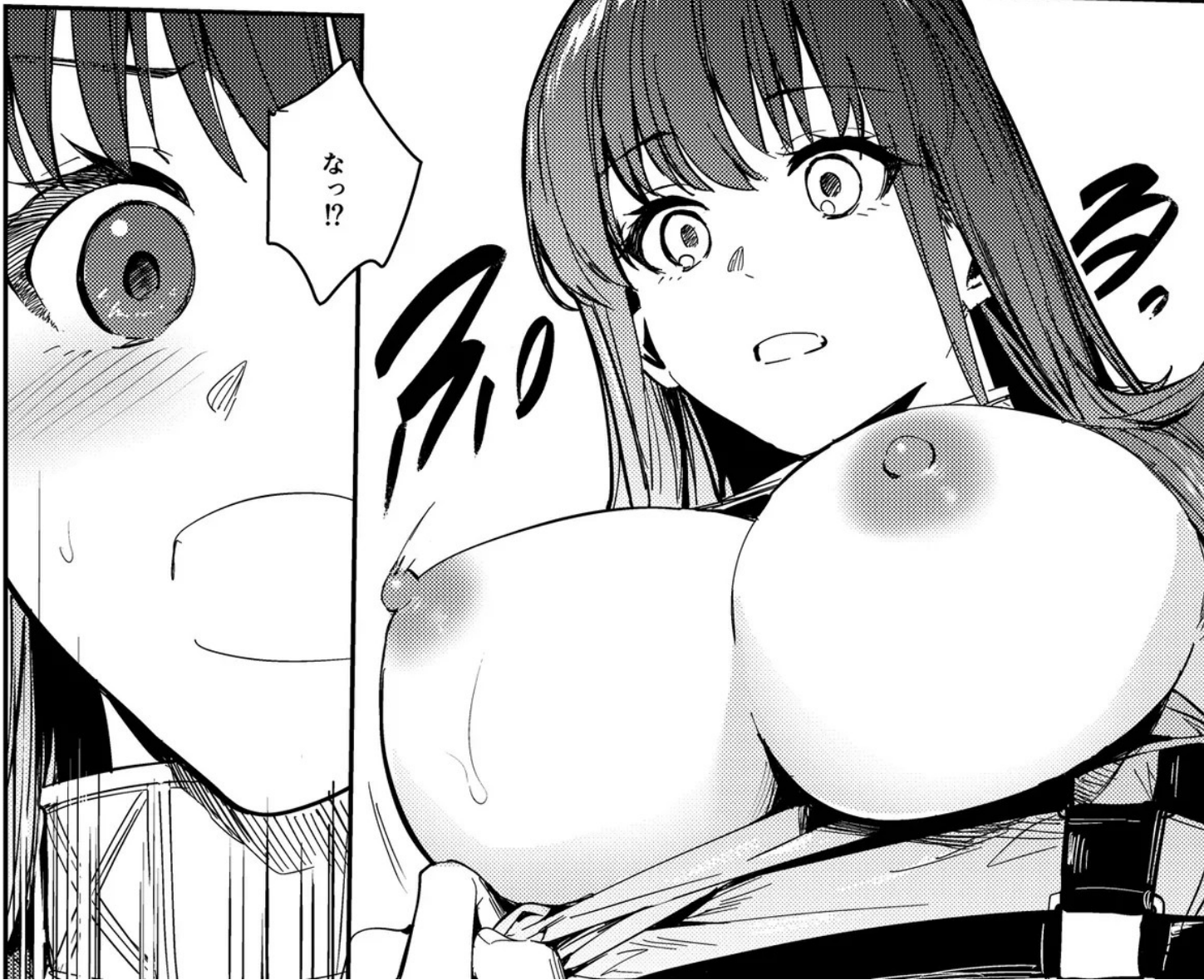
無駄です

今のアレックスさんの  
レベルでは  
絶対に外せません

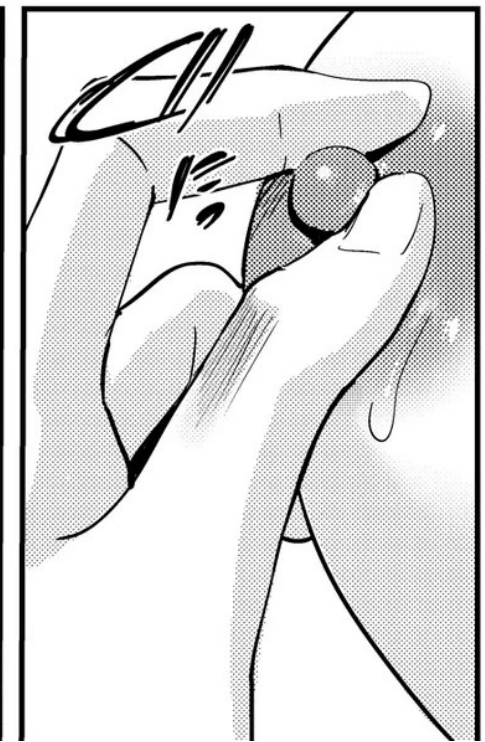
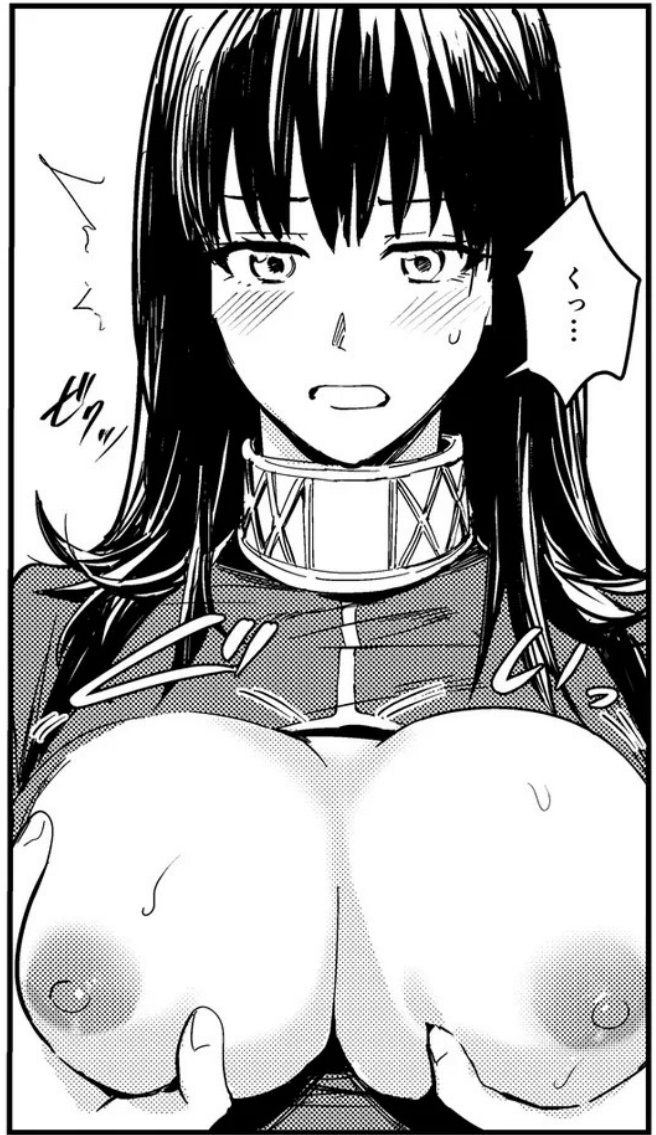
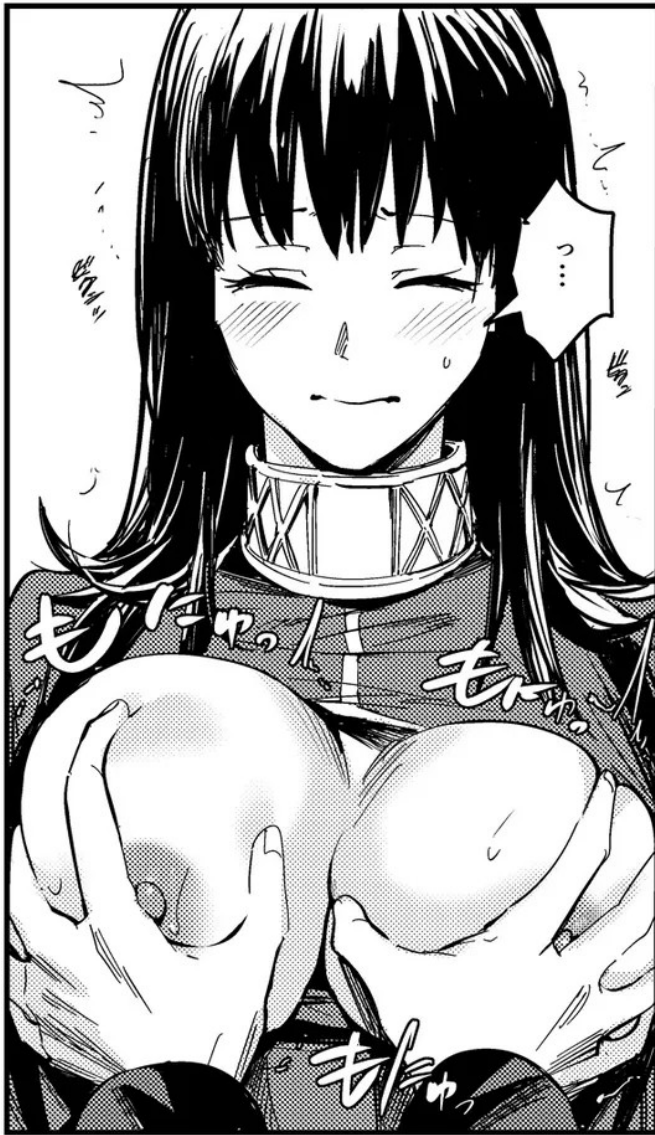


僕が  
動いていいと  
言うまで  
動かないで  
くださいね

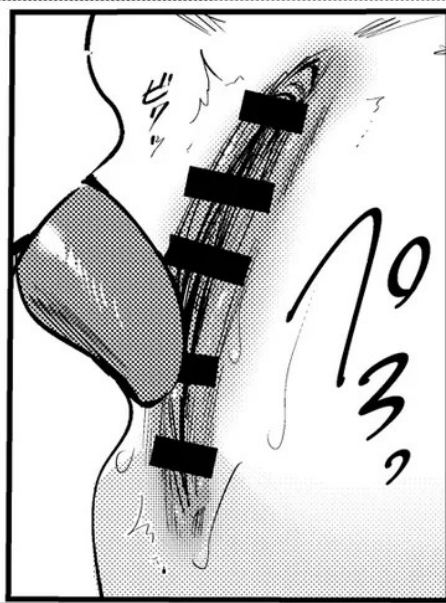
さて

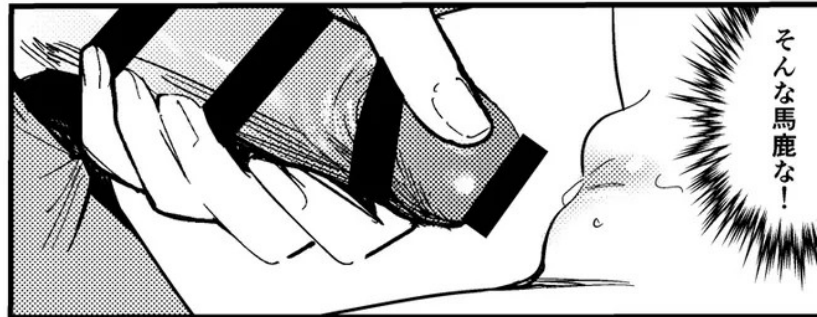
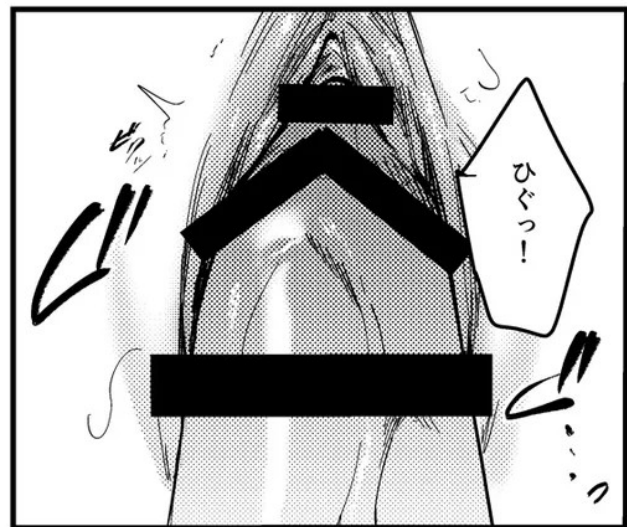
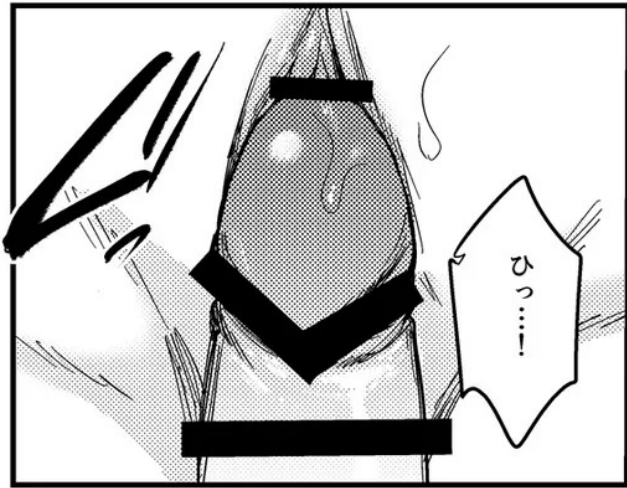


なっ!?











女としての自分を  
受け入れればぎつと  
気持ちよくなれますよ

ふざけるなっ…

どじですっ…

このまま  
私の子を孕んで  
私の妻になる気は  
ありませんか？

なっ！

なるわけないだろ！

そうですか…  
我が公爵家に勇者様の  
血筋を入れるとともに

勇者様も公爵家の  
一員になっていただく

悪い取引じゃ  
無いと思うのですが

黙れ！  
俺は男だ！

ふふっ  
今は女ですよ

それじゃあ  
そろそろ出しますよ

おいっ！



やめろっ！  
出すなあっ！

そんなっ...  
中に出されてる...



勇者様が  
素直で真面目な  
女性になれるように  
しばらく  
ここで訓練しましょう

その後も  
カルロは俺のことを  
何日にもわたって  
犯し続けた

根本から  
改めさせた方がいいと  
考えています

…っ！  
こんなことをしている  
暇があるのかよ！

犯されているうちに  
いつの間にか  
俺の口から甘い声が出始め

気持ちいいですか？

ち…違っ！！

気付けば女として  
犯されることを  
受け入れてしまっていた

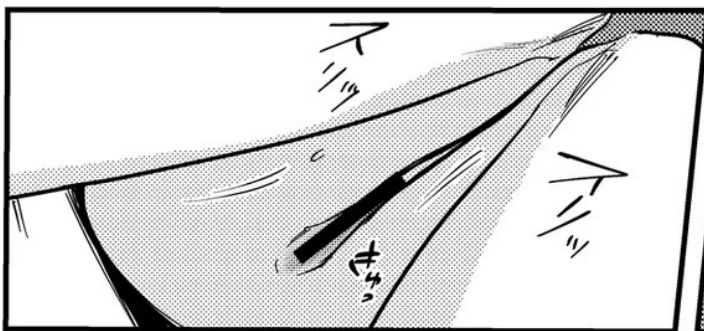
ああんっ♡

そしてカルロは  
俺に女性的な  
言葉つかいを強要し

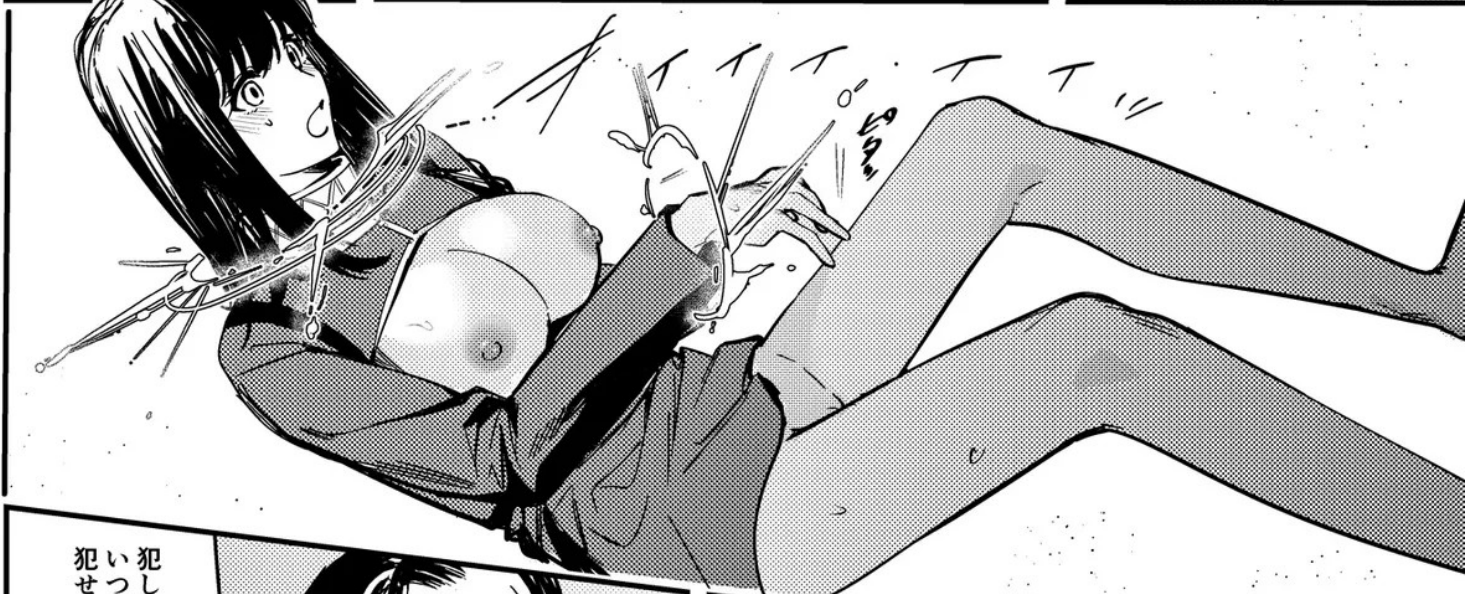
アレクシア

と

女の名前で  
呼び始めた



何故か  
この数日  
カルロは俺のことを  
犯してこない



犯したいのなら  
いつもみたいに  
犯せばいいじゃないですか！

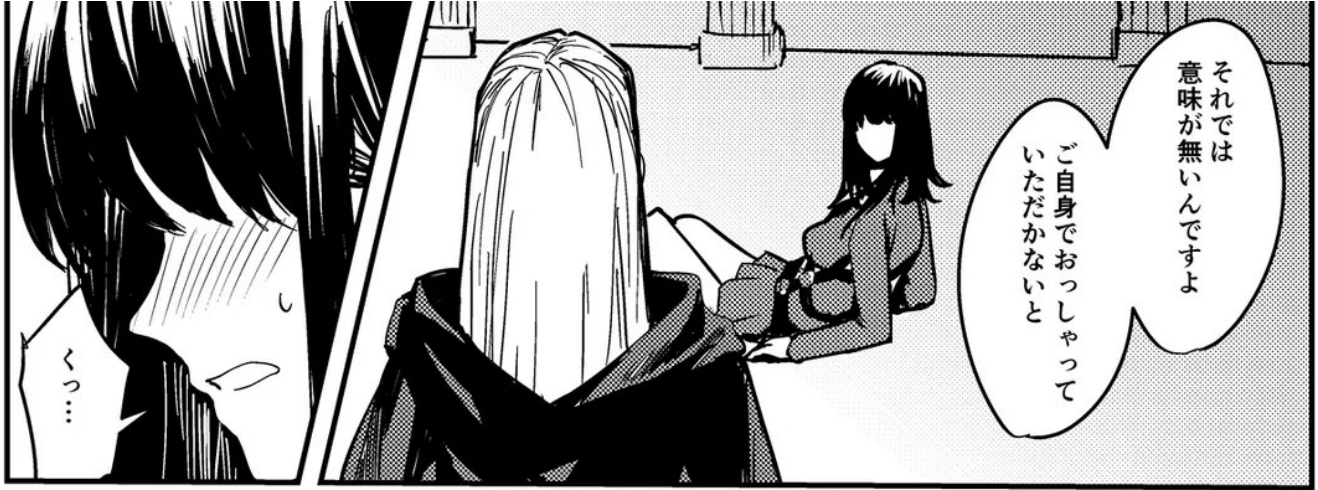


だめですよ  
アレクシア  
自分で  
慰めるのは…  
そんな…



何をして欲しいのか  
言ってください

……



それでは  
意味が無いんですよ

ご自身でおっしゃって  
いただかないと

くっ…

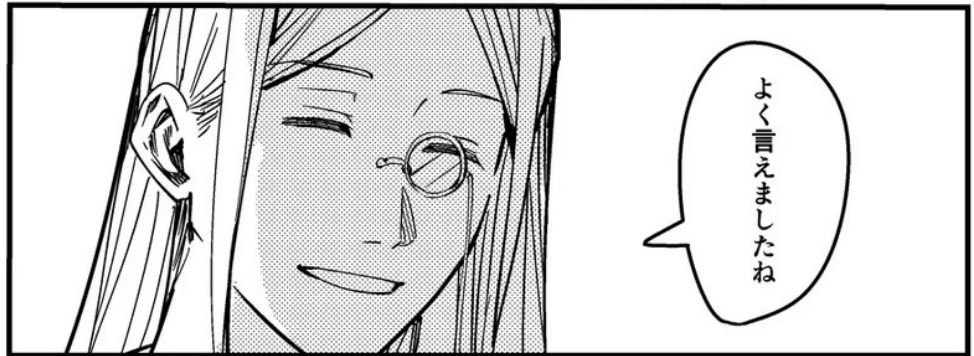


私のことを…

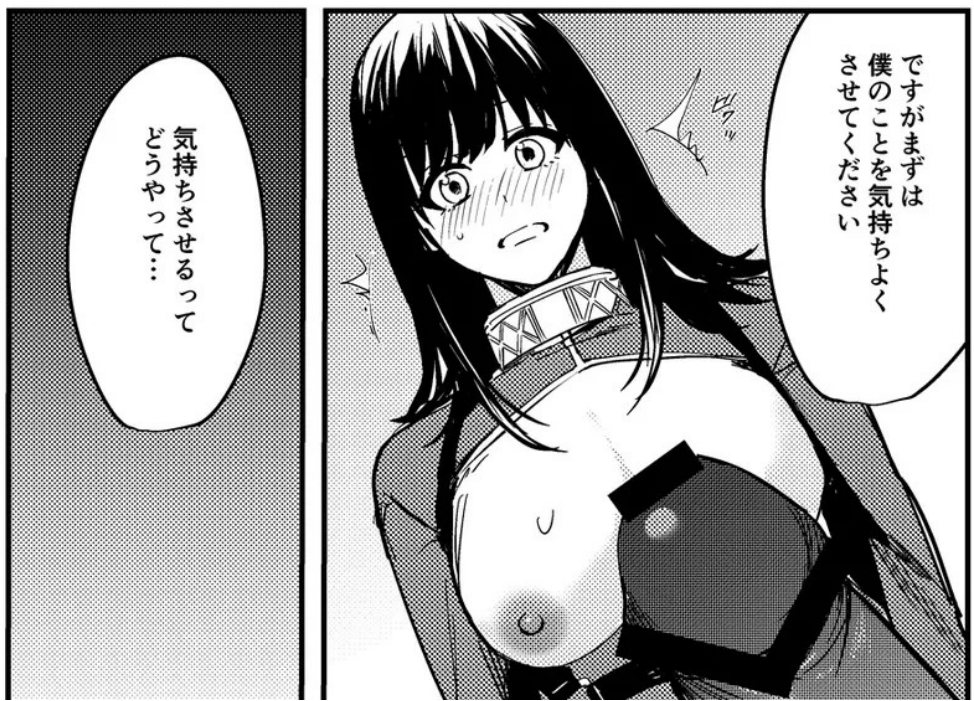
抱いて…  
ください…



ほら  
口を使って…



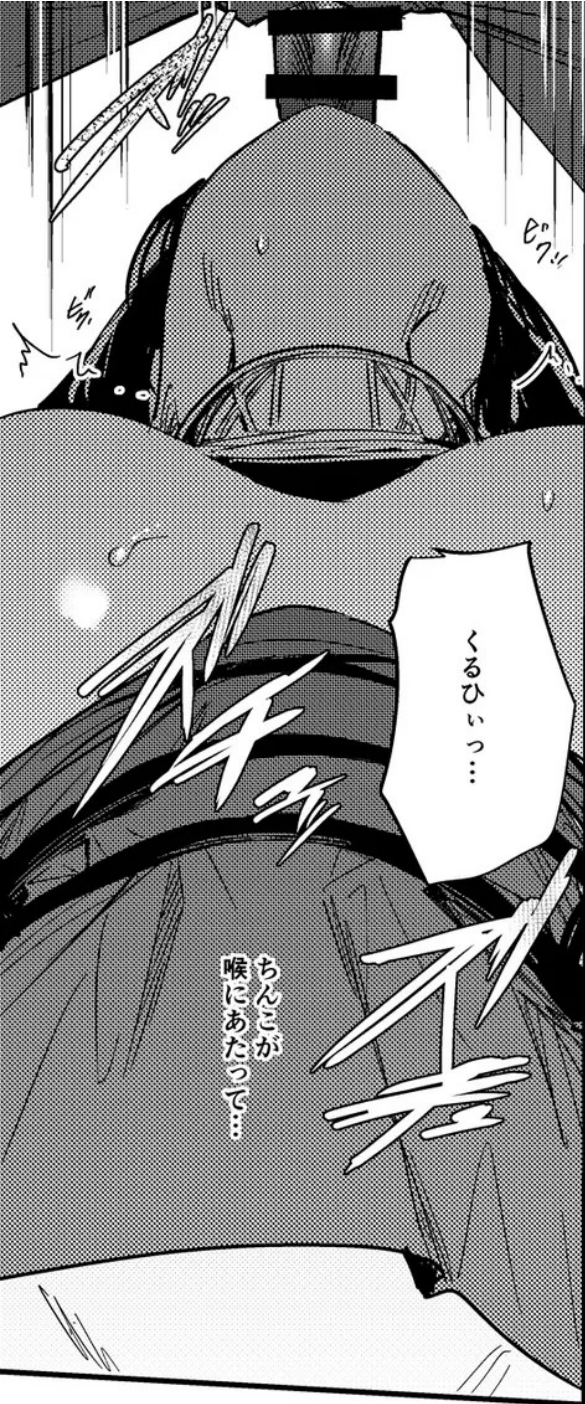
よく言えましたね



ですがまずは  
僕のことを気持ちよく  
させてください

気持ちさせるって  
どうやって…



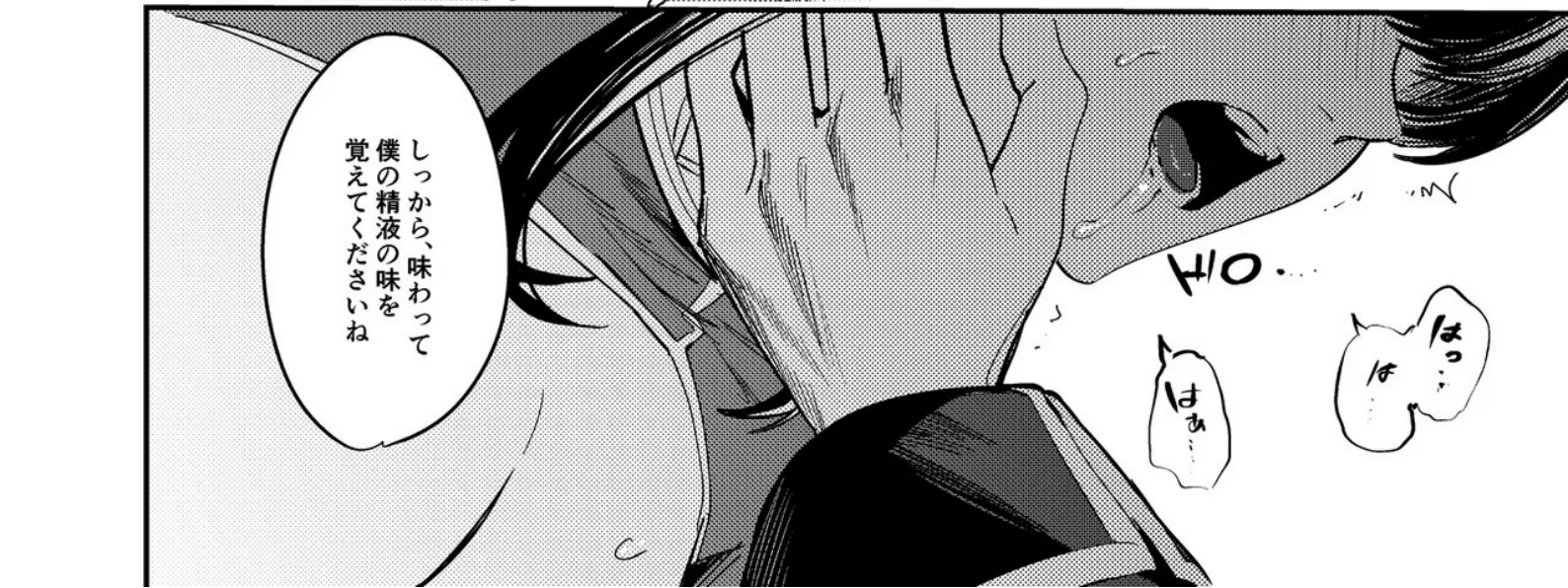




ううんっ!

さあ  
出しますよ

くそっ!



しっかり、味わって  
僕の精液の味を  
覚えてくださいな

ハロ...

は...

はっ...  
は...



そんな言い方はダメです  
もっと具体的に言ってください

さあ！  
約束通り  
私のことを  
抱いてください！



私のおまんこに  
カルロ様の  
たくましい竿を  
入れて下さい！



あうっ！  
そんなにに入れて  
欲しいのなら  
仕方がないですね

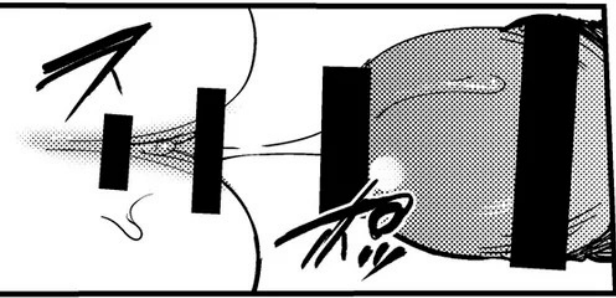


すっきり  
濡れてますね  
くうっ…



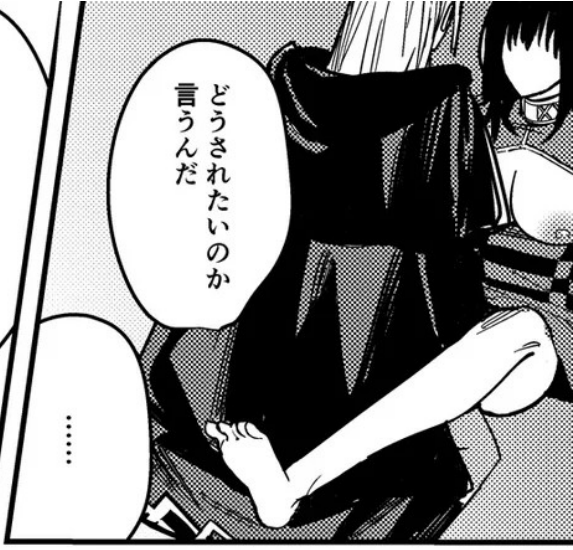
よく言えました







私をイかせて下さい  
カルロ様!



どうされたいのか  
言うんだ

.....



私を...

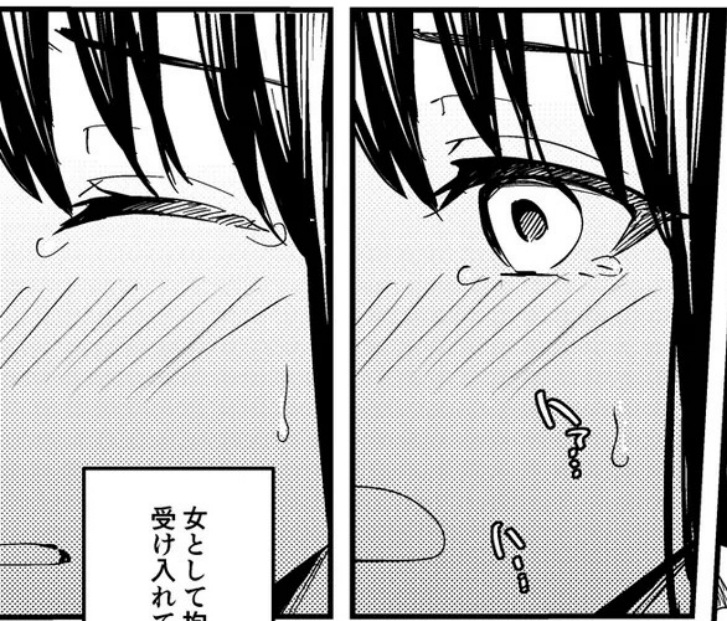


あんっ♡



分かったよ  
アレクシア

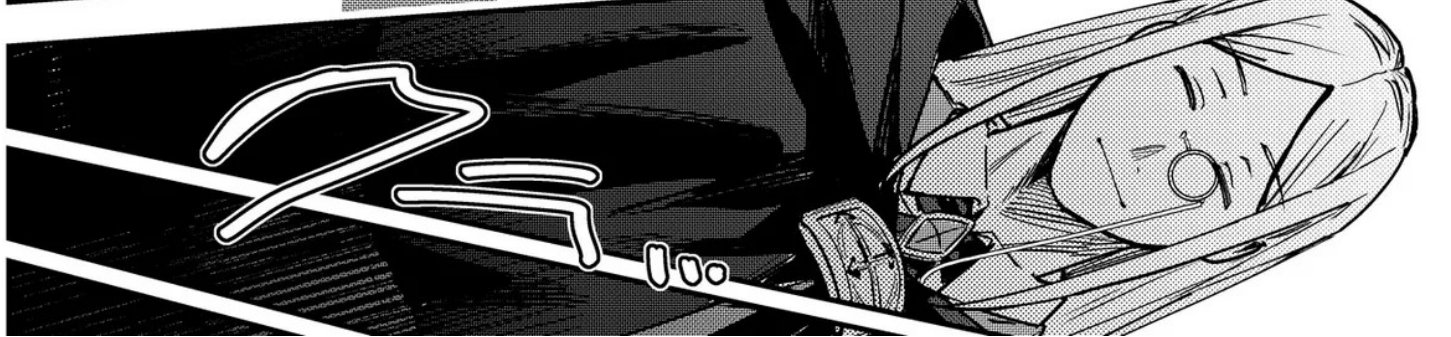
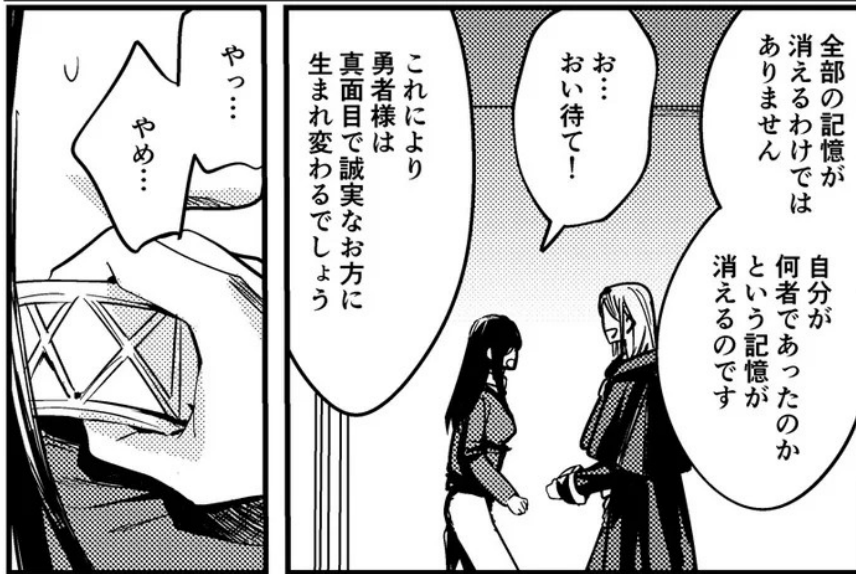
いっ



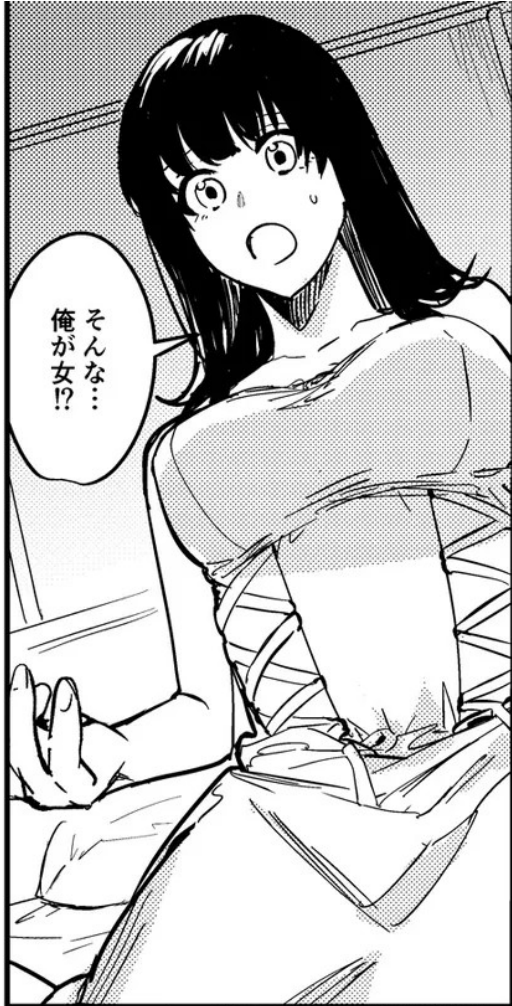
女として抱かれることを  
受け入れてしまった俺は



その後も何度も  
抱かれ続けた...







そんな…  
俺が女!?



そして  
僕はカルロ  
貴方の  
サポーターであり  
婚約者です

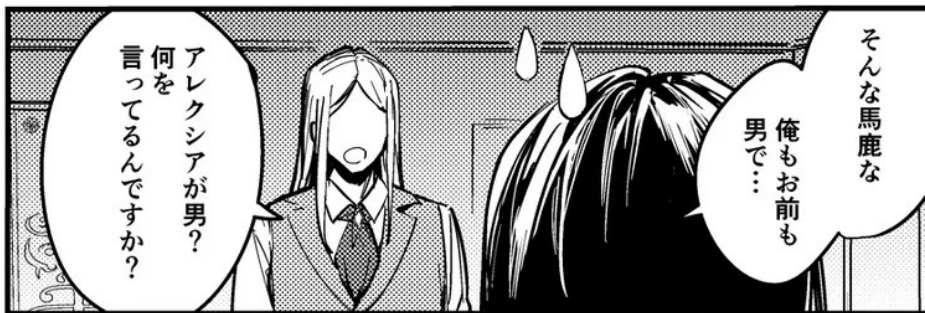
婚約者!?

はいっ



あなたは聖剣により  
選ばれた勇者  
敵との戦いで  
傷つき長い間  
眠っていたのです

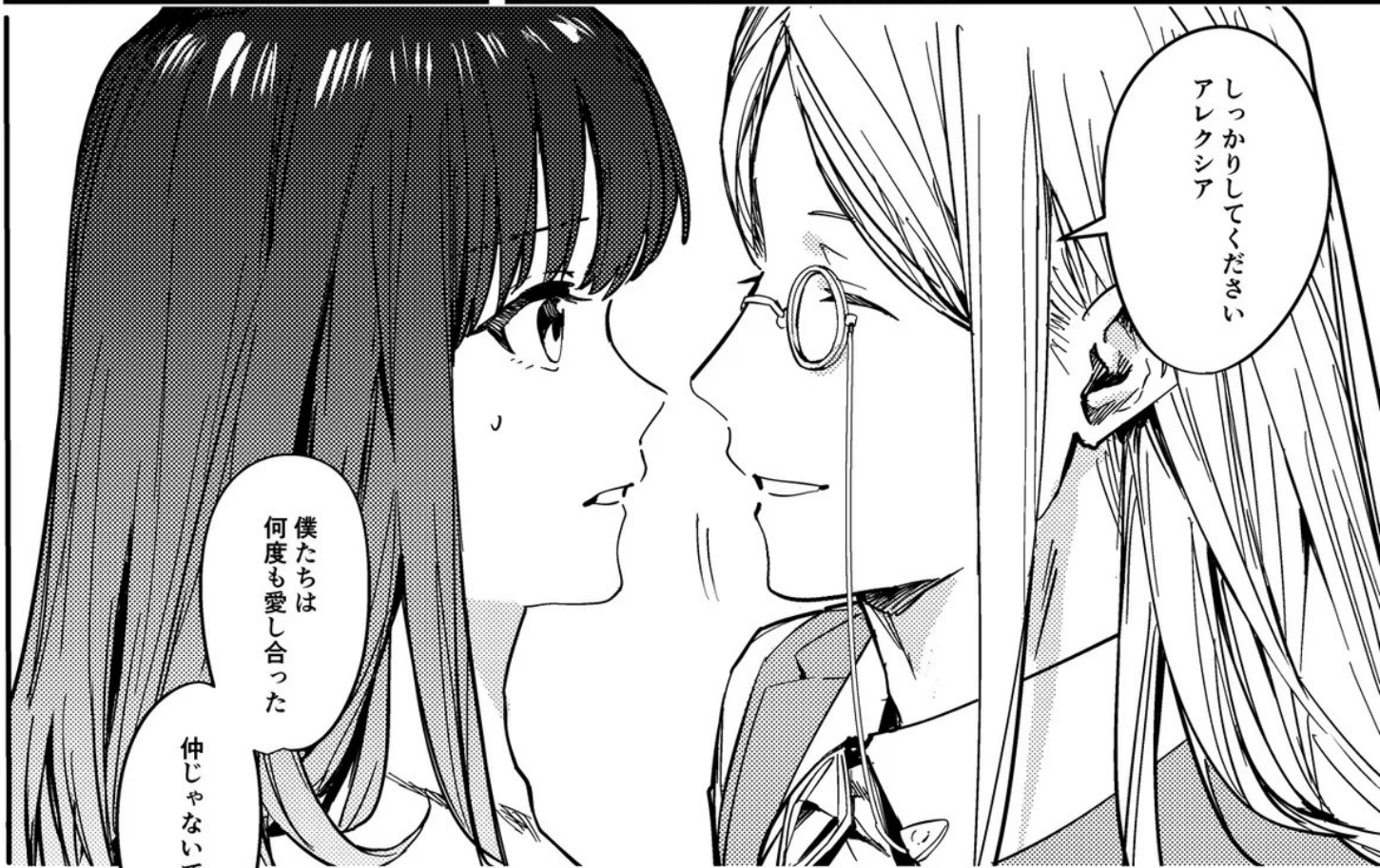
俺が…勇者?



アレクシアが男?  
何を  
言ってるんですか?

俺もお前も  
男で…

そんな馬鹿な

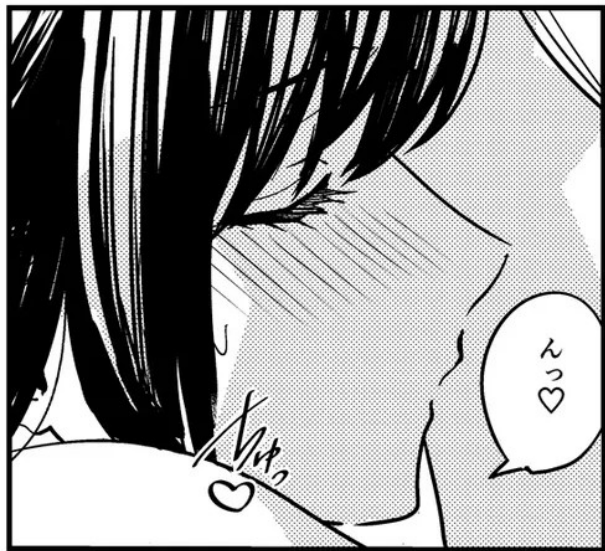
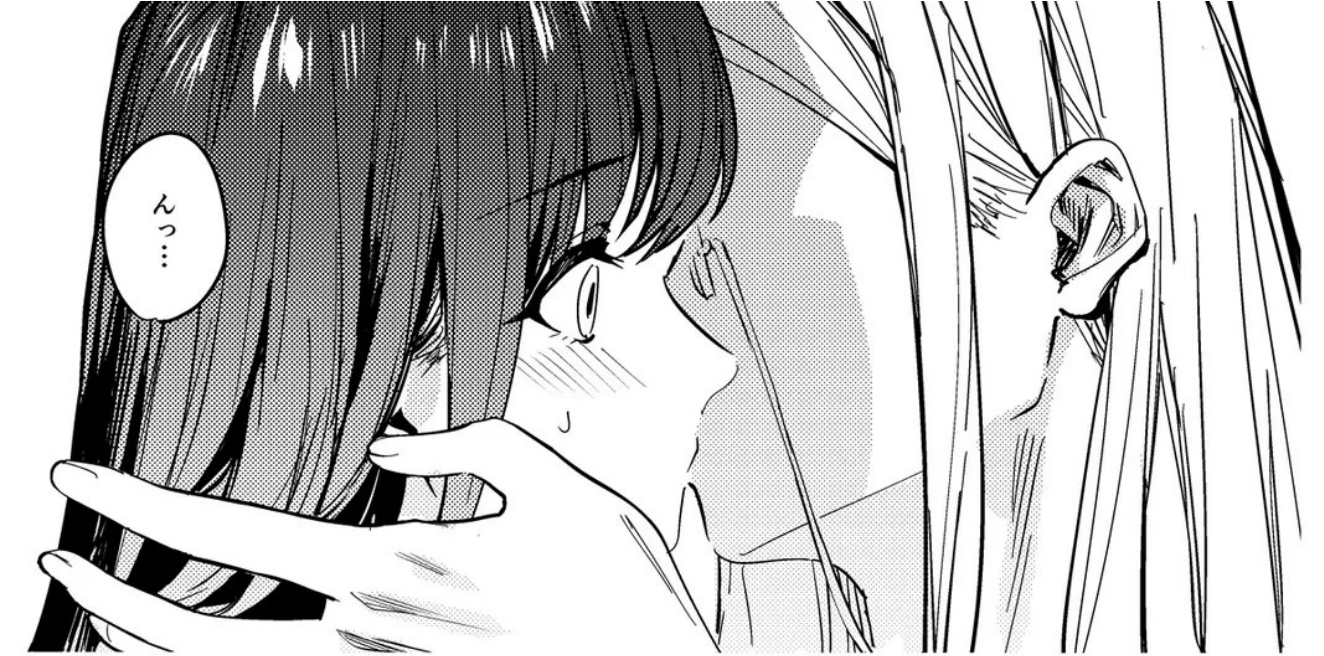


しっかりしてください  
アレクシア

僕たちは  
何度も愛し合った

仲じゃないですか

Handwritten signature and date: 1/20/2017







私のおまんこに  
カルロ様の…

はー♡

はー♡

はー♡

たくましい竿を  
入れて下さい♡

ハッ♡

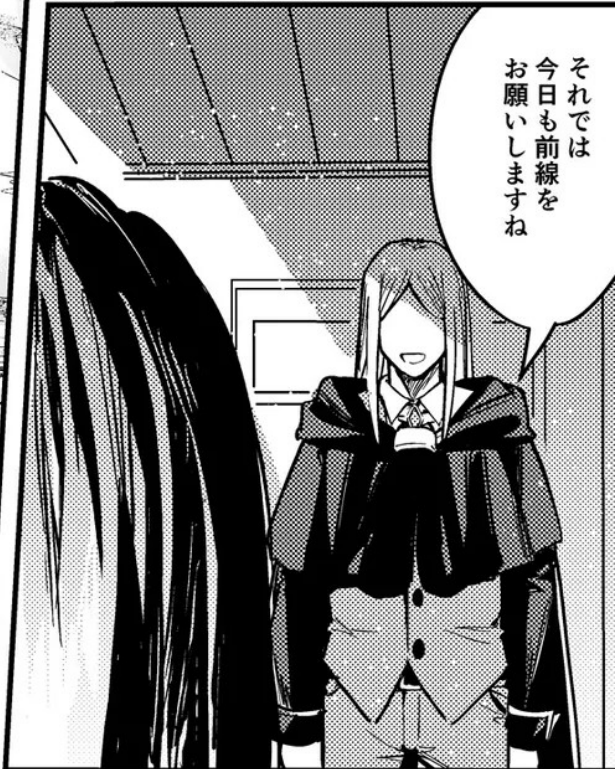
ハッ♡



おっっ♡



その後...



それでは  
今日も前線  
をお願いしますね



異界を滅ぼした後

勇者アレクシアは  
カルロと幸せな家庭を  
築いたという

カルロ様との未来のために  
私は負けられないのです♡



不真面目勇者の  
再教育

原作：F(えふ)  
漫画：べってい

Do not repost our works in any case.  
We will provide English version  
on pixiv fanbox and FAKKU!  
<https://tsf.fanbox.cc/>  
<https://www.fakku.net/publishers/tsf-no-f>





この世界の  
創造主である神が  
造ったとされている  
七つの武器

俺 アレックスは  
その一つである聖剣に選ばれ  
勇者の一人となった

俺たちが勇者に選ばれたのと  
ときを同じくして  
この世界と異界をつなぐ  
ゲートが現れた

異界は我々の住む世界と  
重なり合うように  
いくつもあるらしい

俺たち勇者は  
ゲートの向こう側の  
異界の勇者と戦い

異界を滅ぼすことが  
使命とされている

ゲート周辺での戦いにより  
異界の勇者の二人を打ち倒したため  
戦況は優位に進んでいる

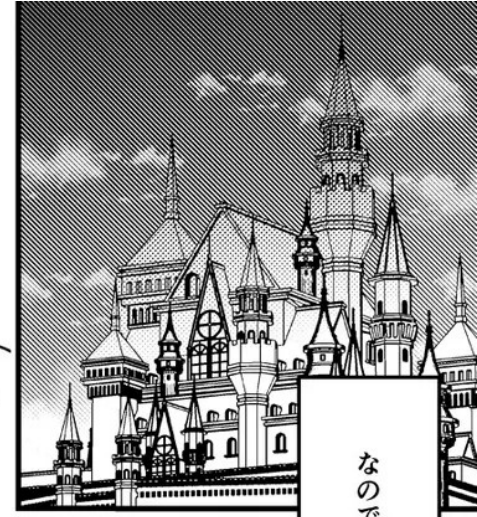




こんな泥棒みたいな  
真似は止めてさっさと  
前線に向かってください

しばらくの間

戦いは他の勇者に任せて  
俺は金稼ぎを...



なので...



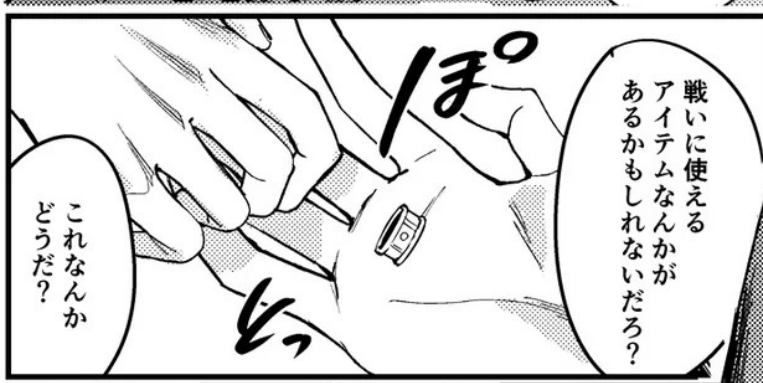
公爵家の  
跡継ぎである  
カルロと違い  
平民の俺には  
金が必要なんだ

この世界の  
勇者を滅ぼせば  
この世界ごと  
なくなつて  
しまうんだろ？  
もつたいない  
じゃないか

そう言うなよ

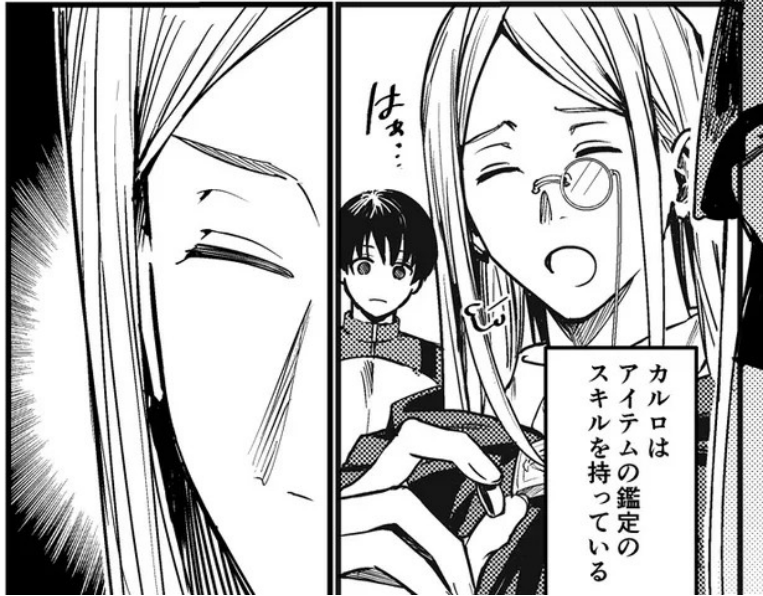
こいつが  
そのサポーターの  
カルロだ

俺たち勇者には  
監視を兼ねたサポーターが  
派遣されている



戦いに使える  
アイテムなんか  
あるかもしれないだろ？

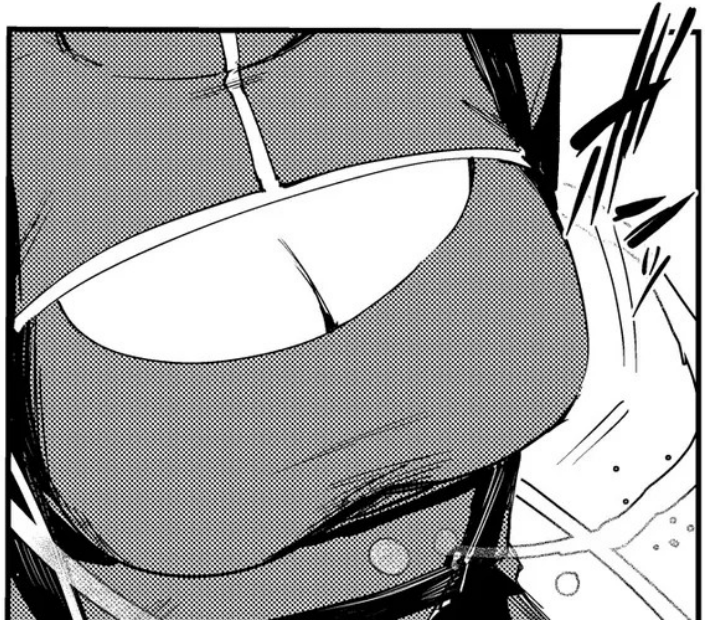
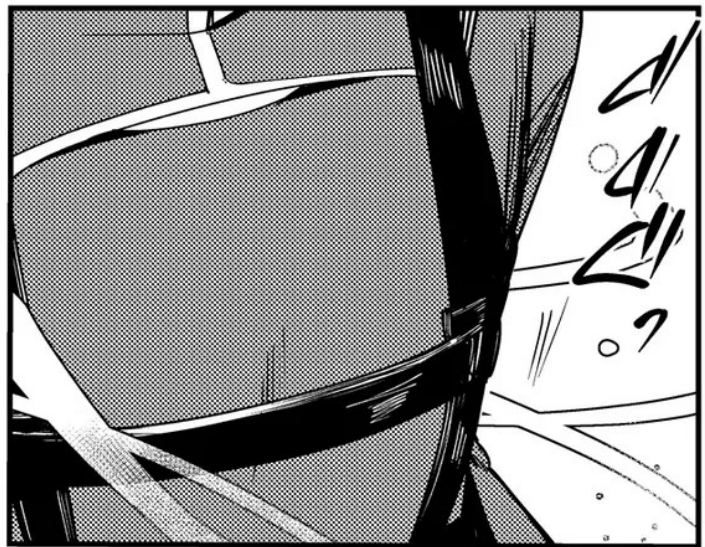
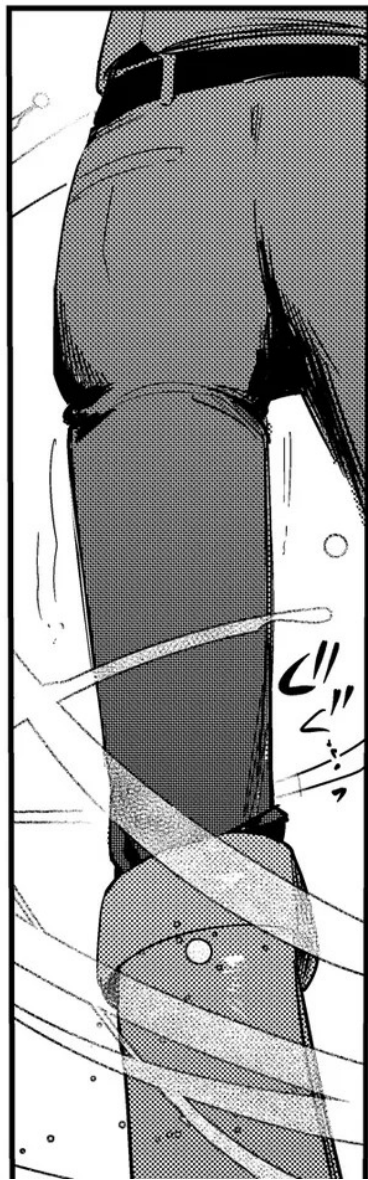
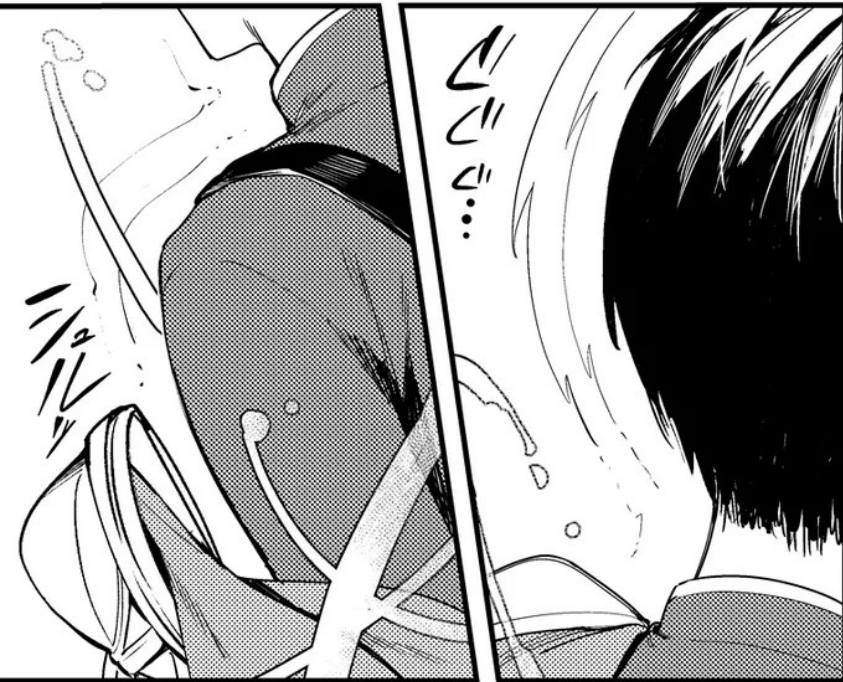
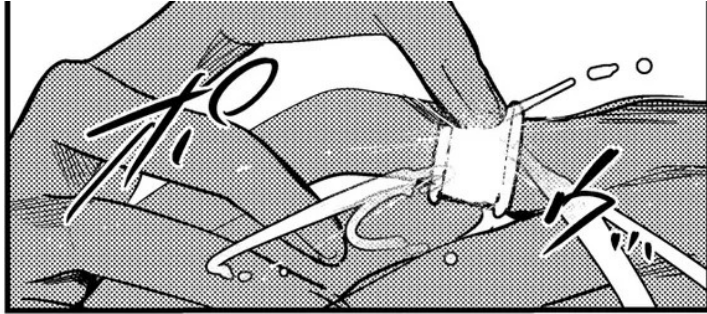
これなんか  
どうだ？

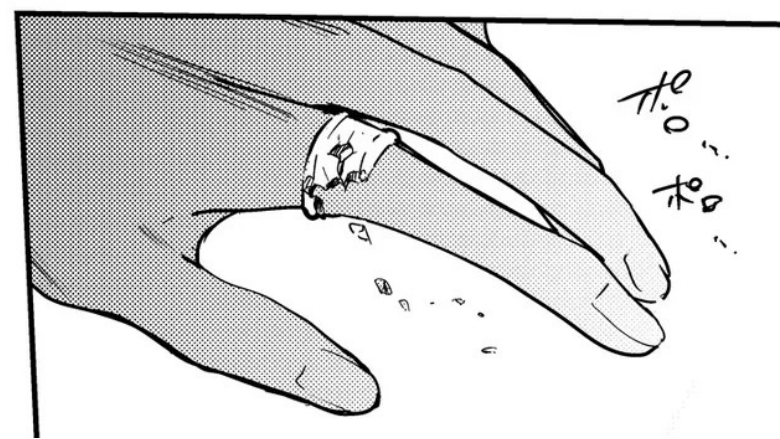
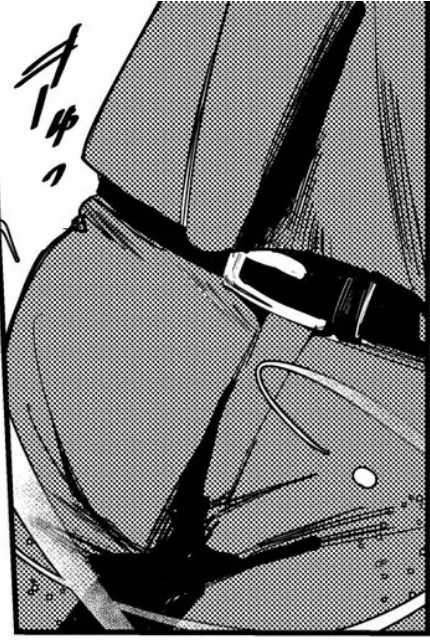
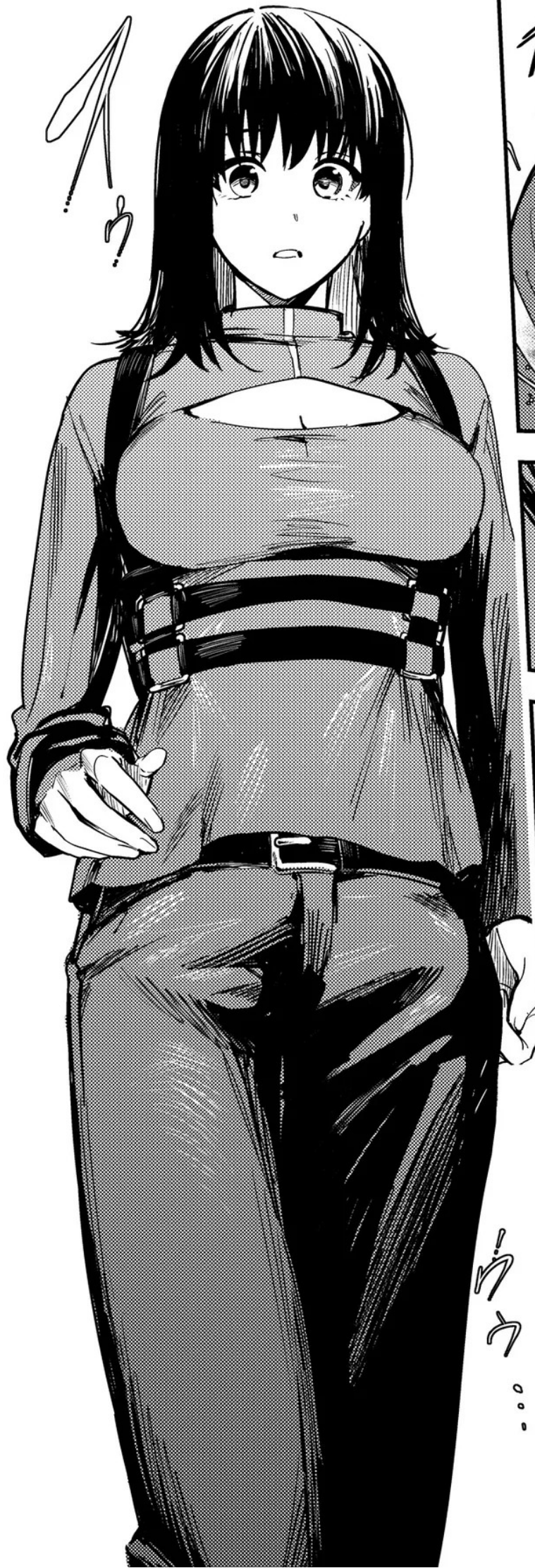


は...

カルロは  
アイテムの鑑定の  
スキルを持っている







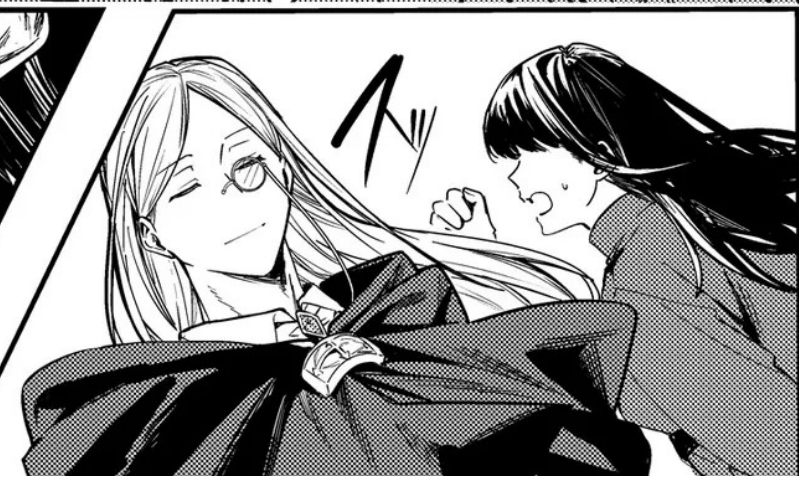
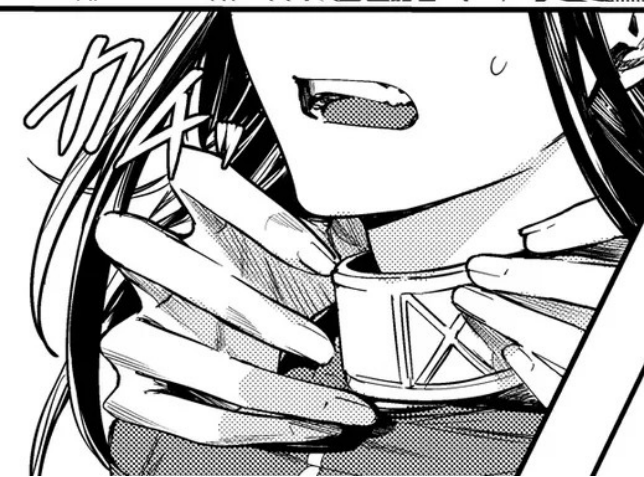
ウキ...

ホ...



職業:勇者 LV10  
性別:女  
HP:35  
MP:20  
力:15  
素早さ:15  
守備:20  
魔力:20

職業:勇者 LV25  
性別:男  
HP:90  
MP:40  
力:50  
素早さ:30  
守備:60  
魔力:40





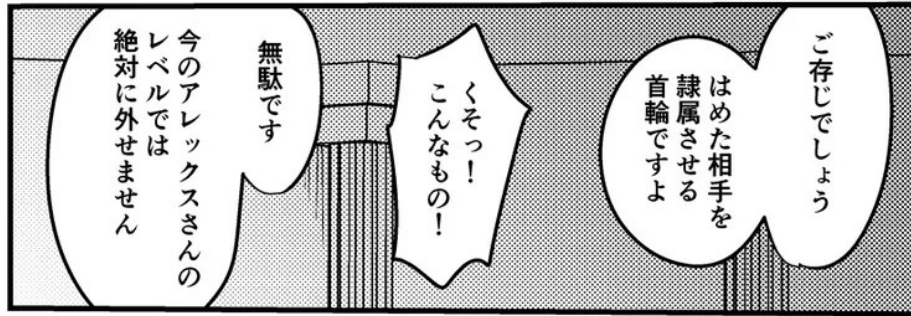
敵国の人間や罪人以外に  
これをはめることは  
禁じられているだろう！

ふふっ  
ここは異界ですし

ばれなければ  
問題ありません



こ…  
これは…



ご存じでしょう  
はめた相手を  
隷属させる  
首輪ですよ

くそっ！  
こんなもの！

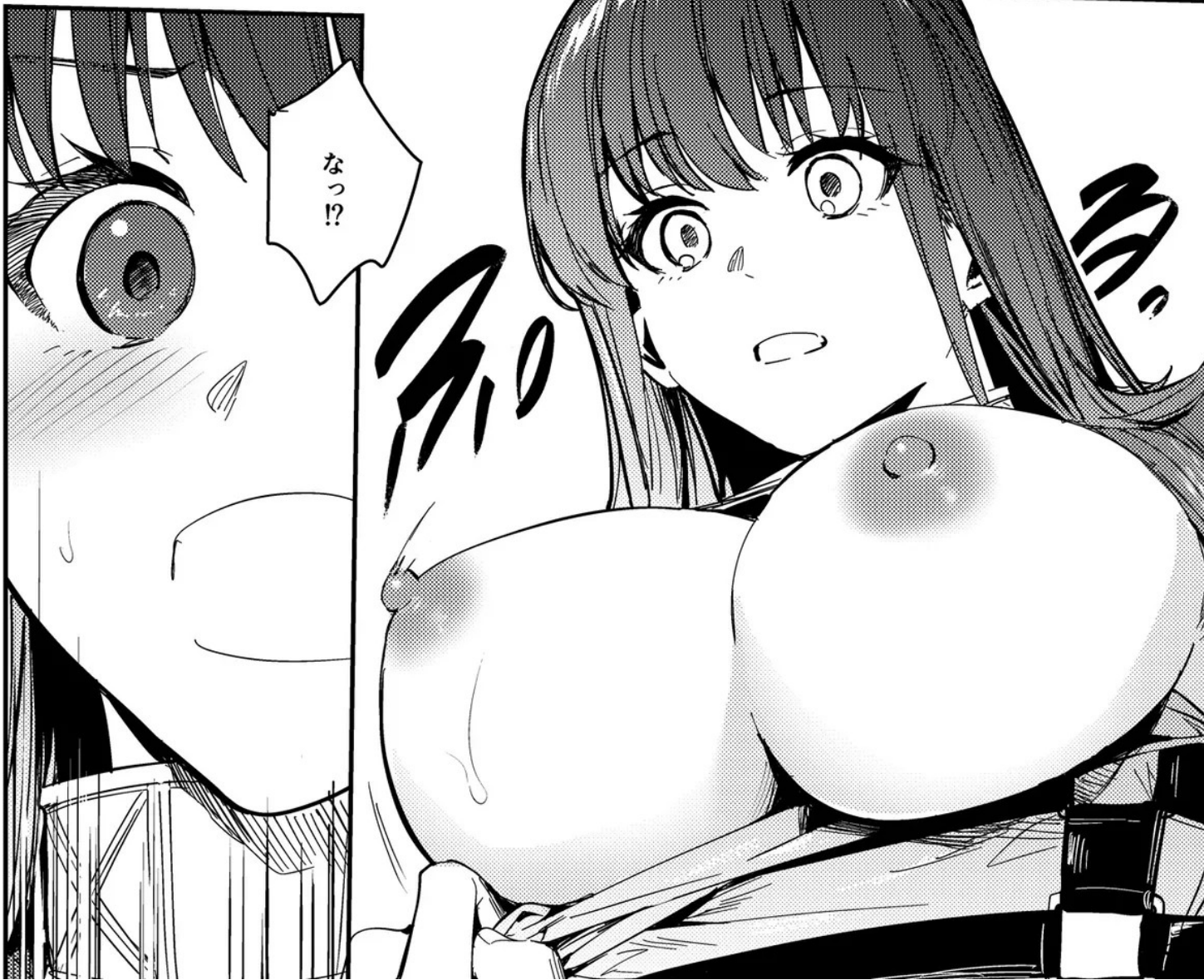
無駄です

今のアレックスさんの  
レベルでは  
絶対に外せません

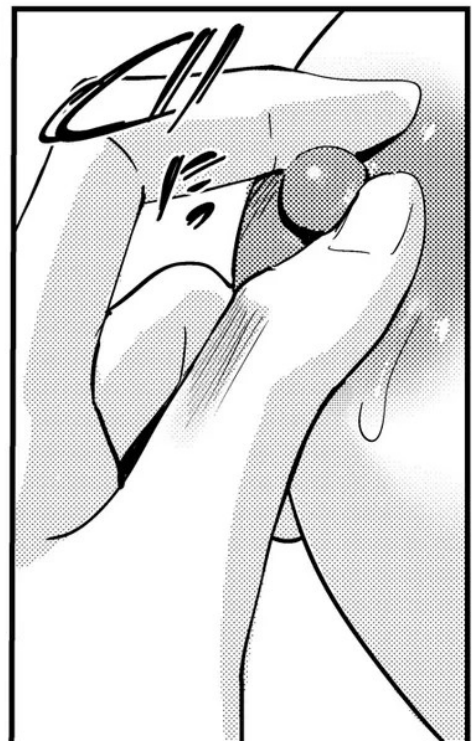
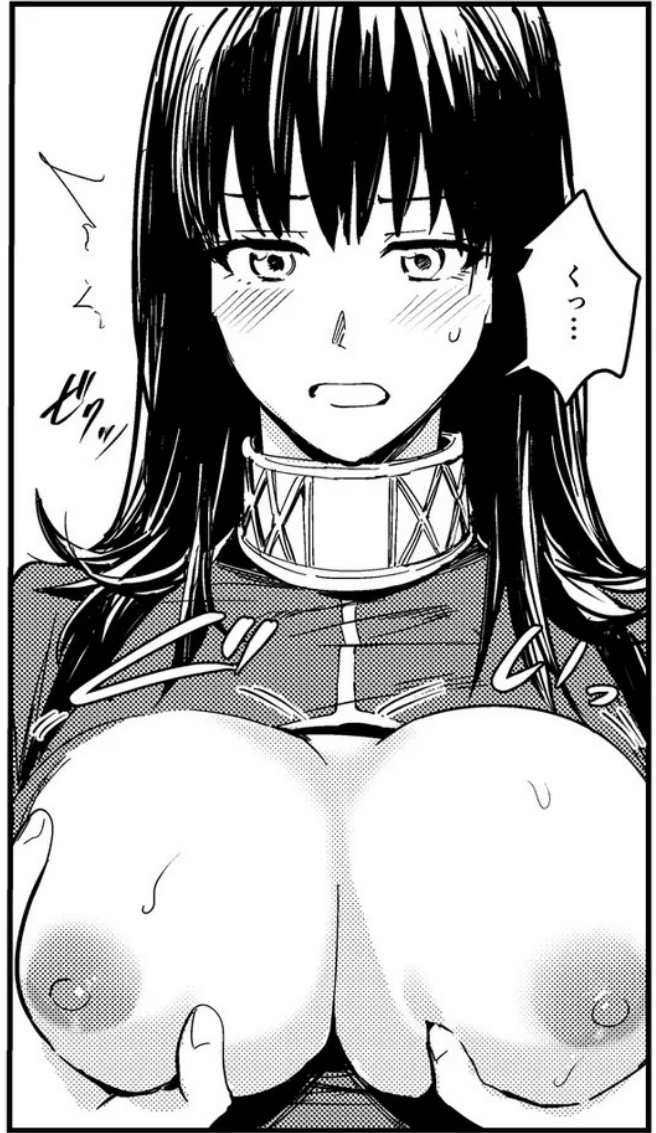
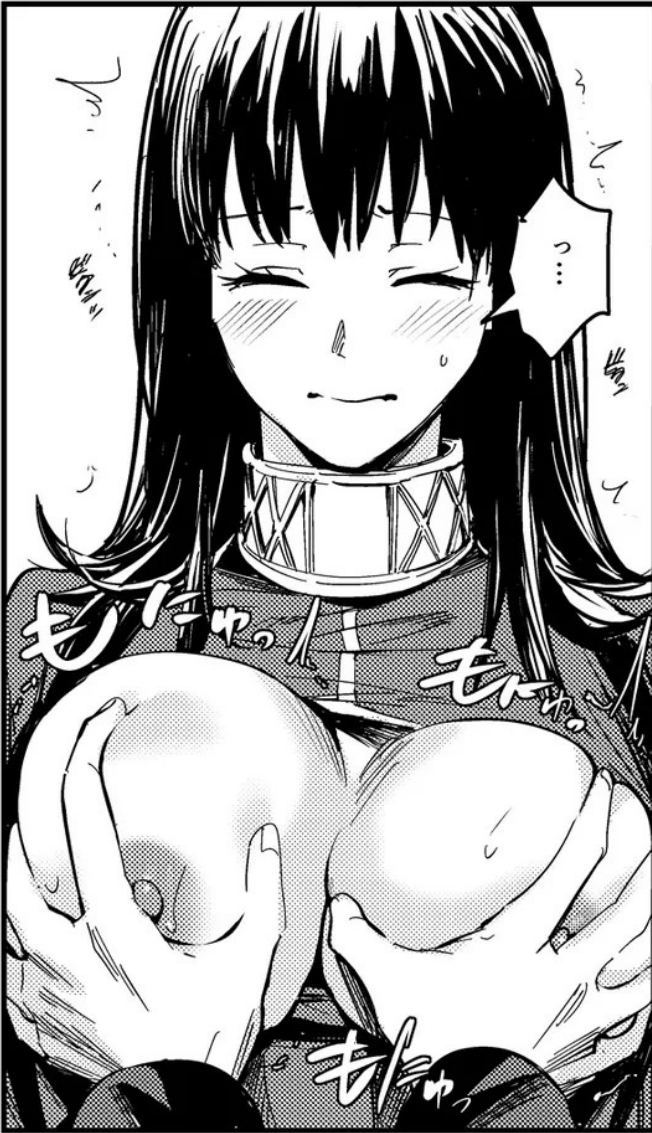


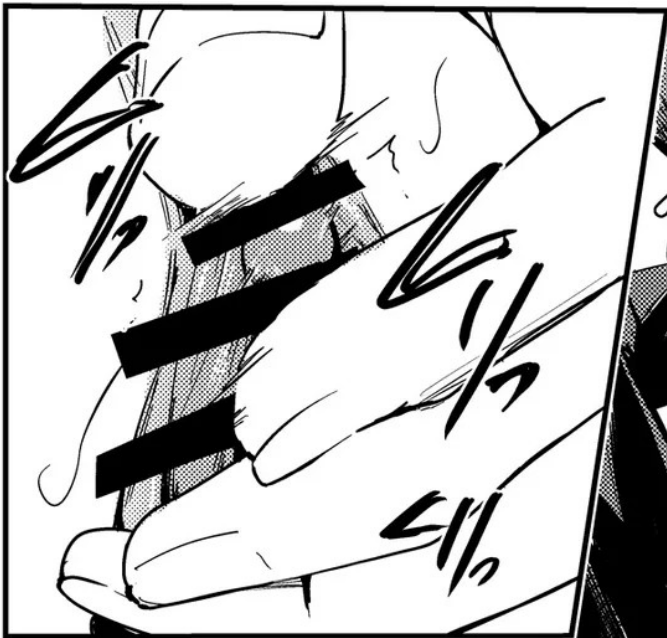
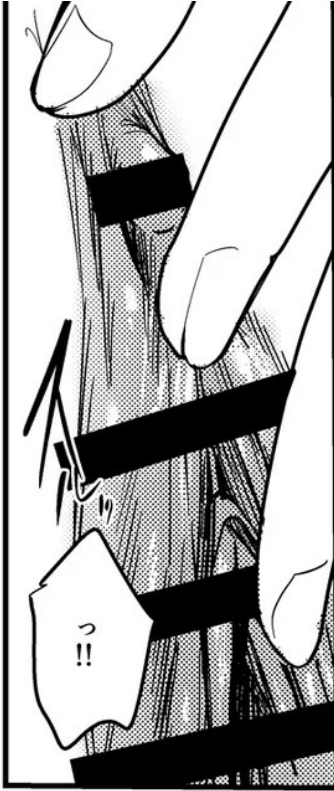
さて

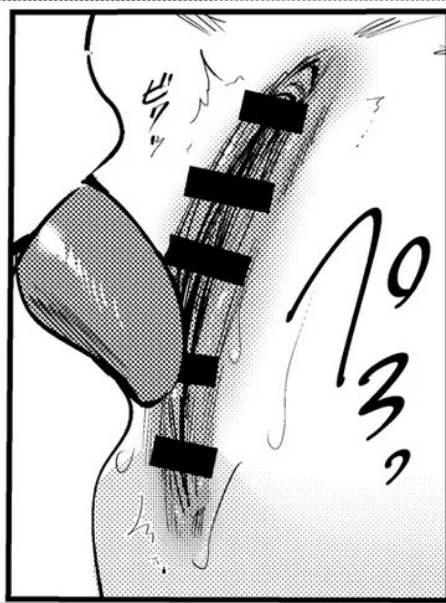
僕が  
動いていいと  
言うまで  
動かないで  
くださいね



なっ!?







それじゃあ  
勇者様の処女を  
いただきますね

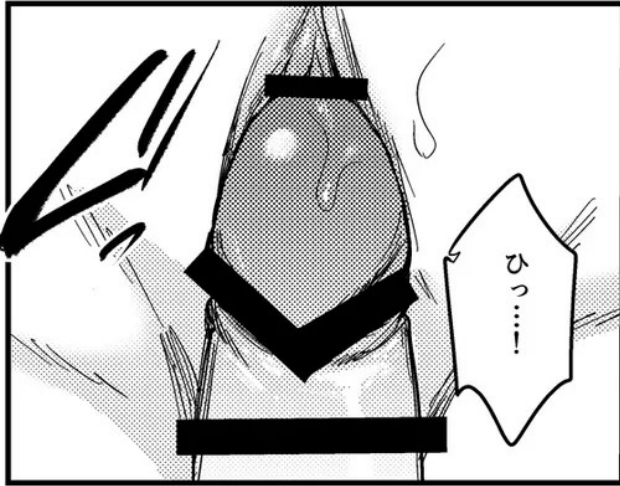
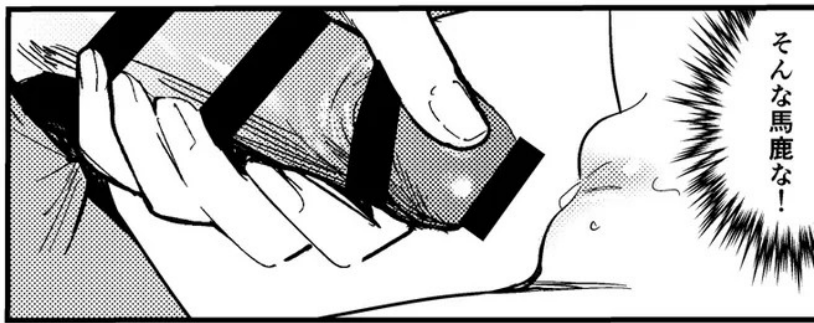
やめろっ！



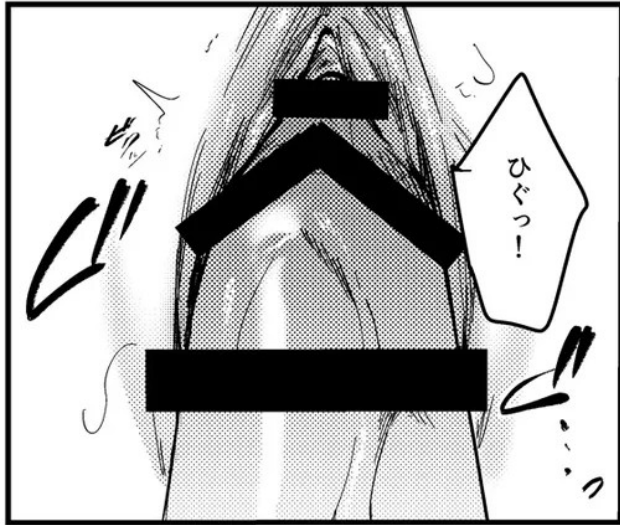
俺が女として  
犯される!?



そんな馬鹿な!



ふっ...



ひびっ!



こんなの

嘘だっ!





女としての自分を  
受け入れればぎつと  
気持ちよくなれますよ

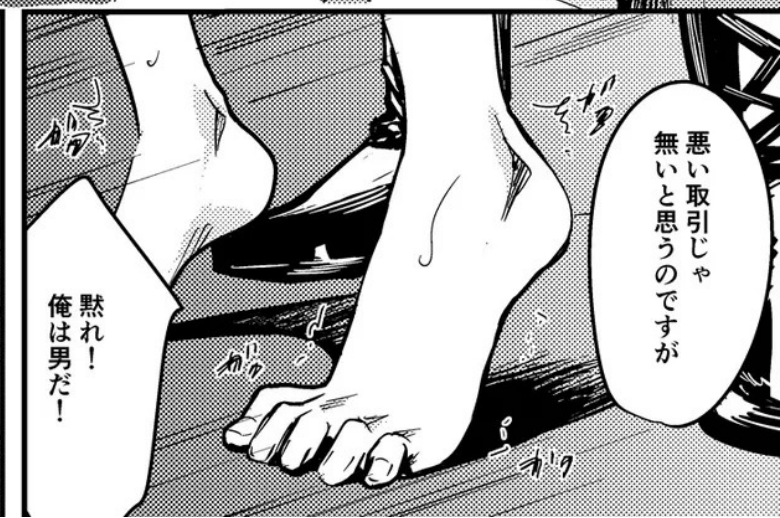
ふざけるなっ…

どじですっ…

このまま  
私の子を孕んで  
私の妻になる気は  
ありませんか？

なっ！  
なるわけないだろ！

そうですか…  
我が公爵家に勇者様の  
血筋を入れるとともに  
勇者様も公爵家の  
一員になっていただく



悪い取引じゃ  
無いと思うのですが

黙れ！  
俺は男だ！

ふふっ  
今は女ですよ  
そろそろ出しますよ

おいっ！



やめろっ！  
出すなあっ！

そんなっ...  
中に出されてる...



勇者様が  
素直で真面目な  
女性になれるように  
しばらく  
ここで訓練しましょう

その後も  
カルロは俺のことを  
何日にもわたって  
犯し続けた

根本から  
改めさせた方がいいと  
考えています

…っ！  
こんなことをしている  
暇があるのかよ！

犯されているうちに  
いつの間にか  
俺の口から甘い声が出始め

気持ちいいですか？

ち…違っ！！



気付けば女として  
犯されることを  
受け入れてしまっていた

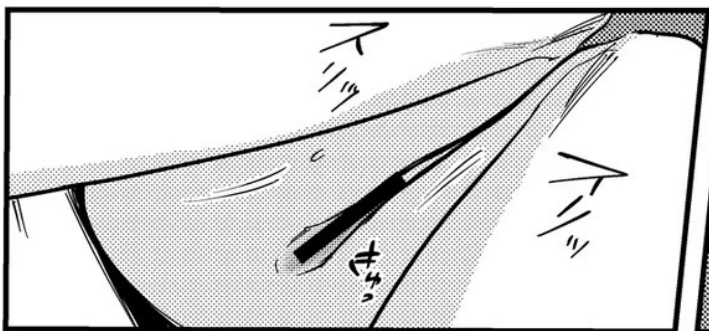
ああんっ♡

そしてカルロは  
俺に女性的な  
言葉つかいを強要し

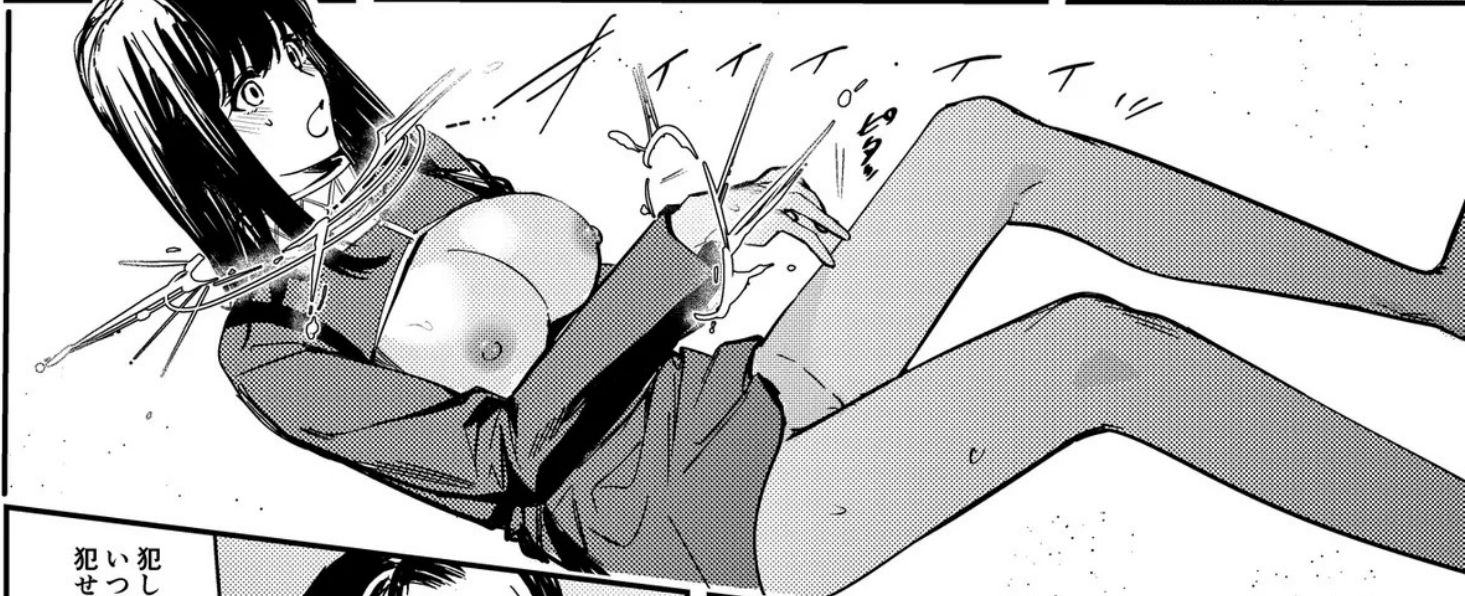
アレクシア

と

女の名前で  
呼び始めた



何故か  
この数日  
カルロは俺のことを  
犯してこない



犯したいのなら  
いつもみたいに  
犯せばいいじゃないですか！

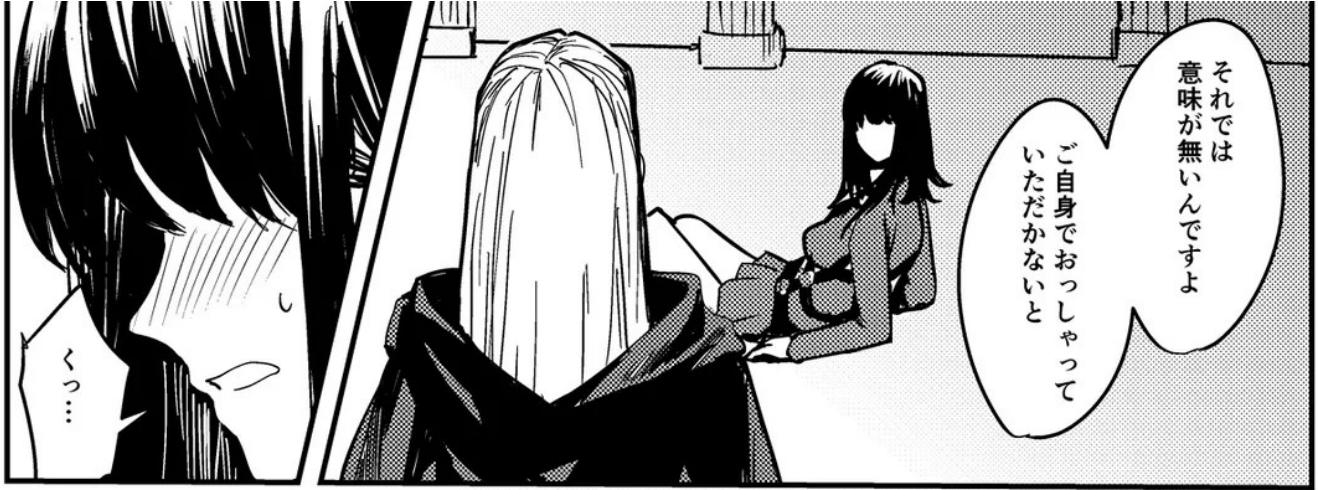


だめですよ  
アレクシア  
自分で  
慰めるのは…  
そんな…



何をして欲しいのか  
言ってください

……



それでは  
意味が無いんですよ

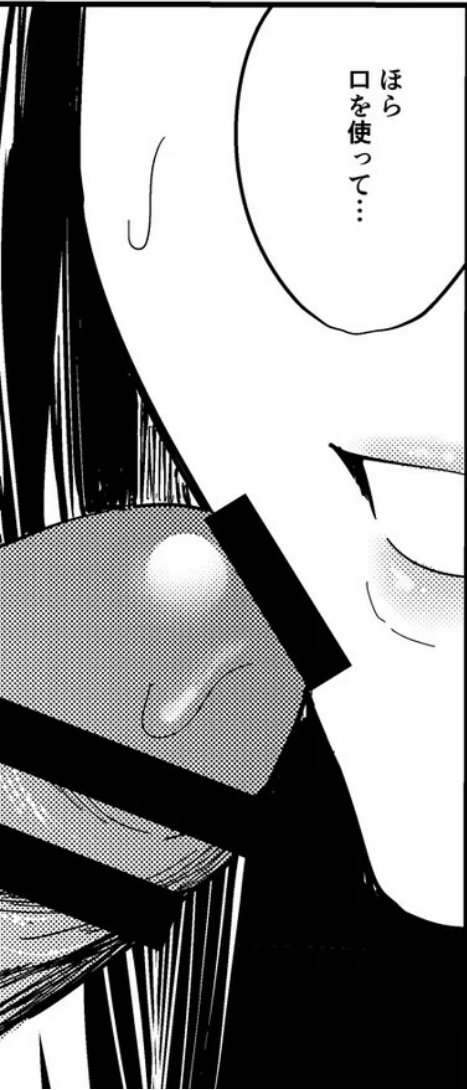
ご自身でおっしゃって  
いただかないと

くっ…

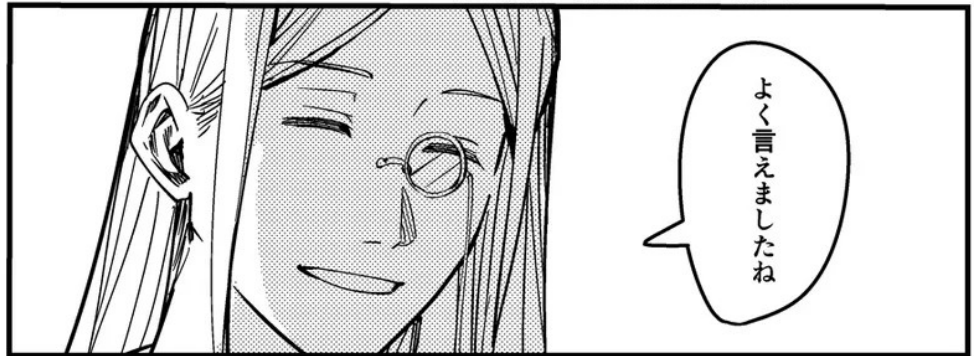


抱いて…  
ください…

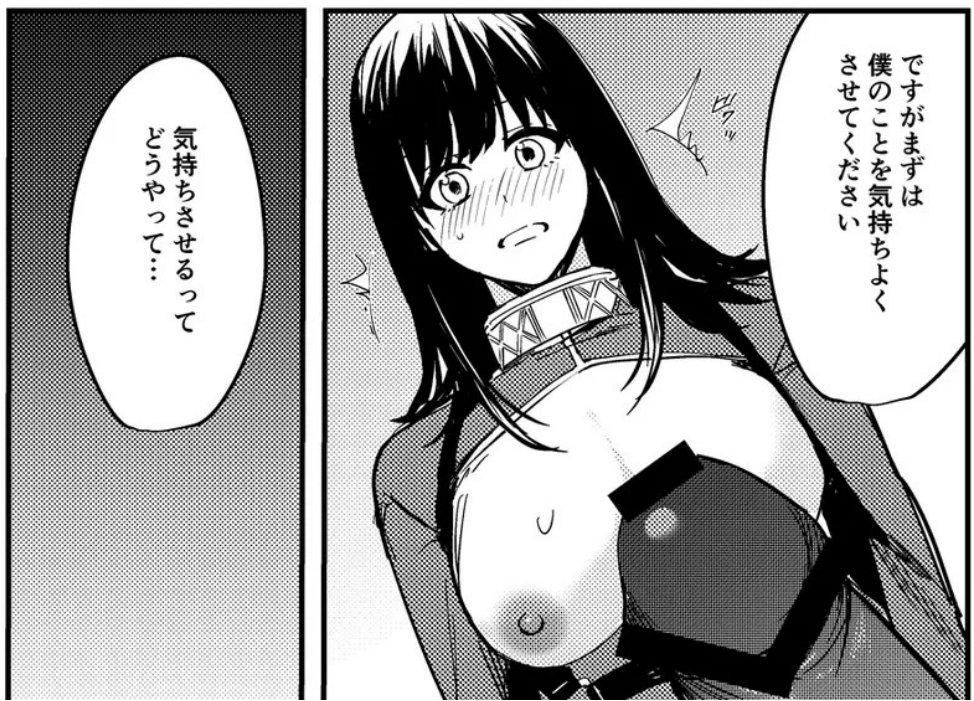
私のことを…



ほら  
口を使って…



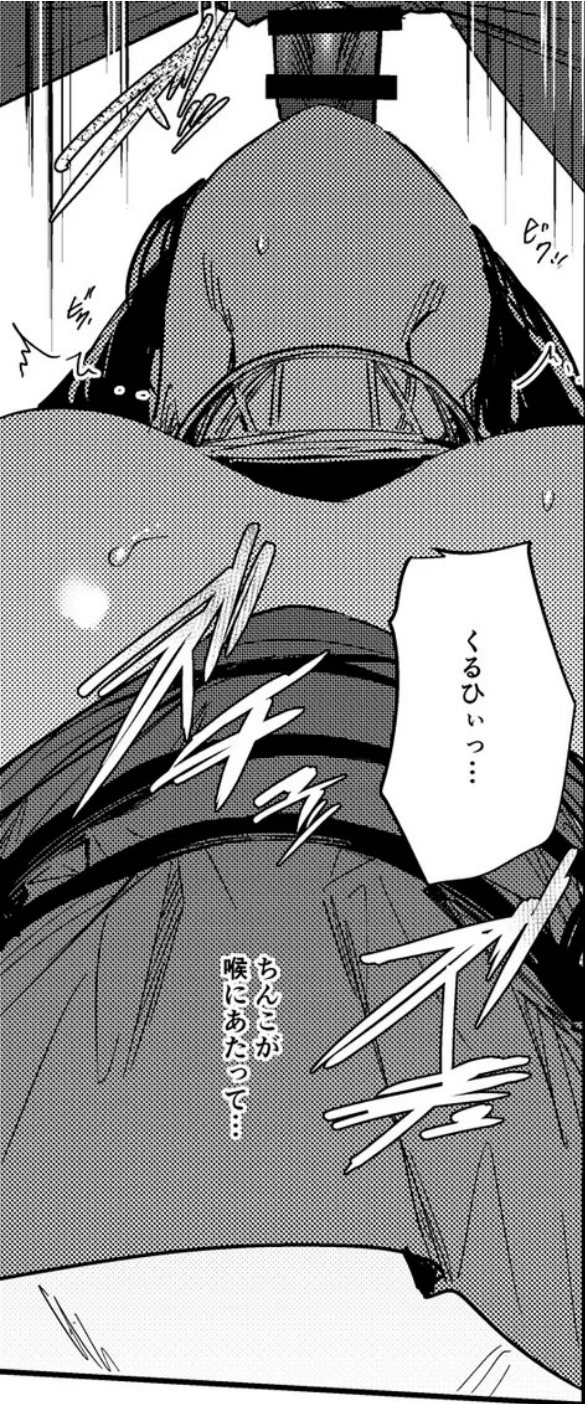
よく言えましたね



ですがまずは  
僕のことを気持ちよく  
させてください

気持ちさせるって  
どうやって…





んっ...

ちんこが  
喉にあたって...

んっ!

おっ!

んっ!

実際に  
気持ちいいですよ

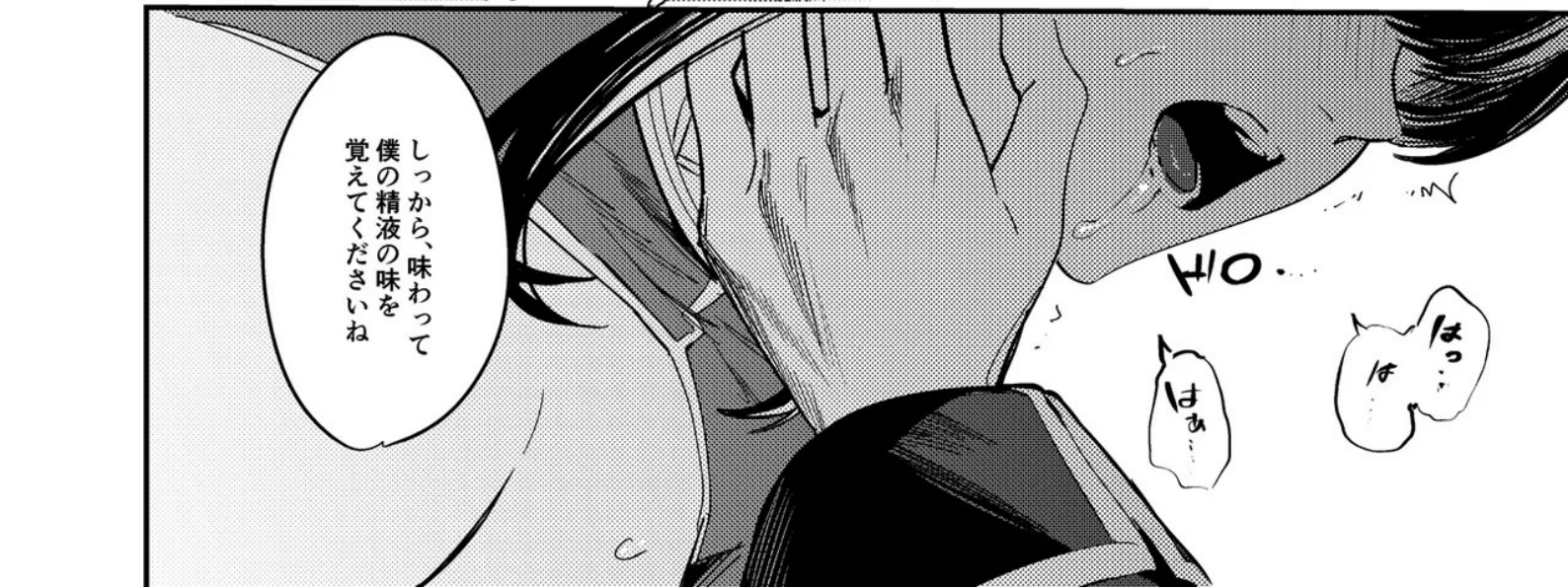
身体で  
僕の一物の味を  
形を  
覚えてください



ううんっ!

さあ  
出しますよ

くそっ!



しっかり、味わって  
僕の精液の味を  
覚えてくださいな

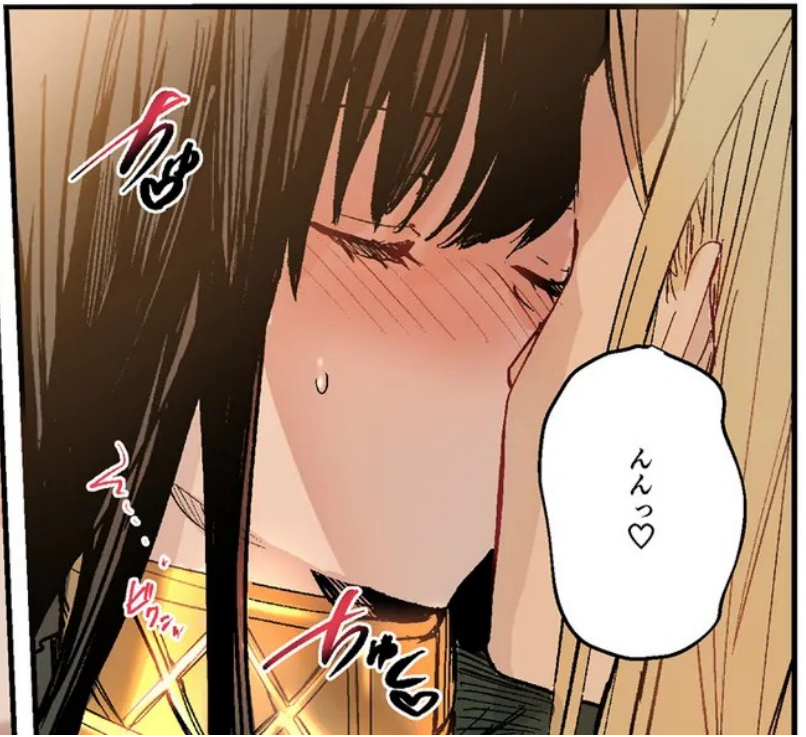
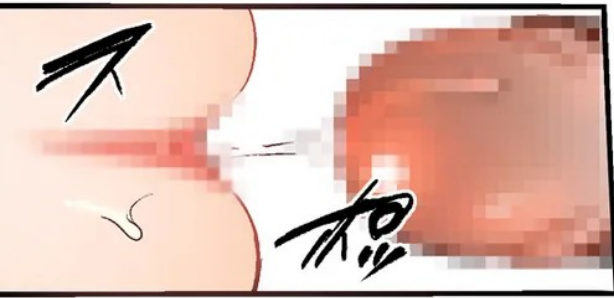
ハロ...

は...

はっ...  
は...

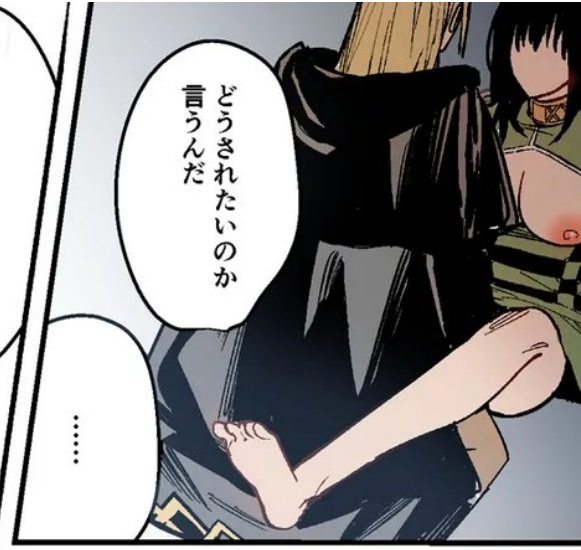








私をイかせて下さい  
カルロ様!



どうされたいのか  
言うんだ



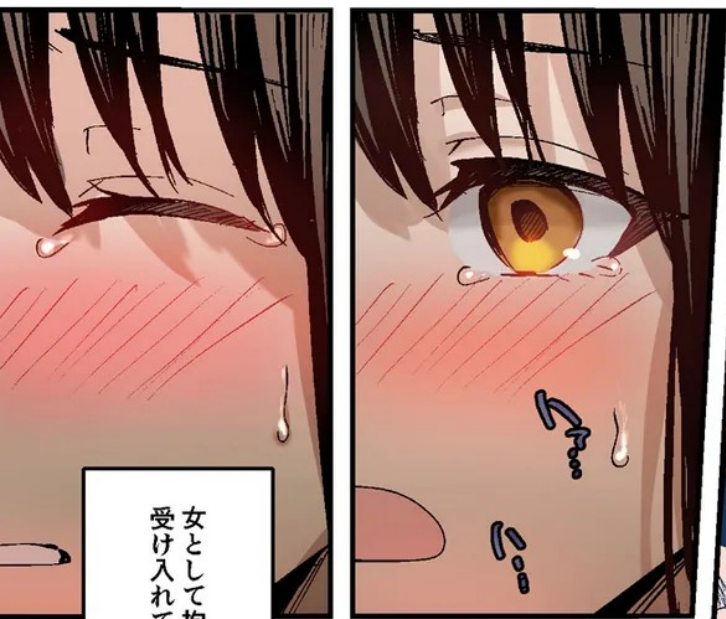
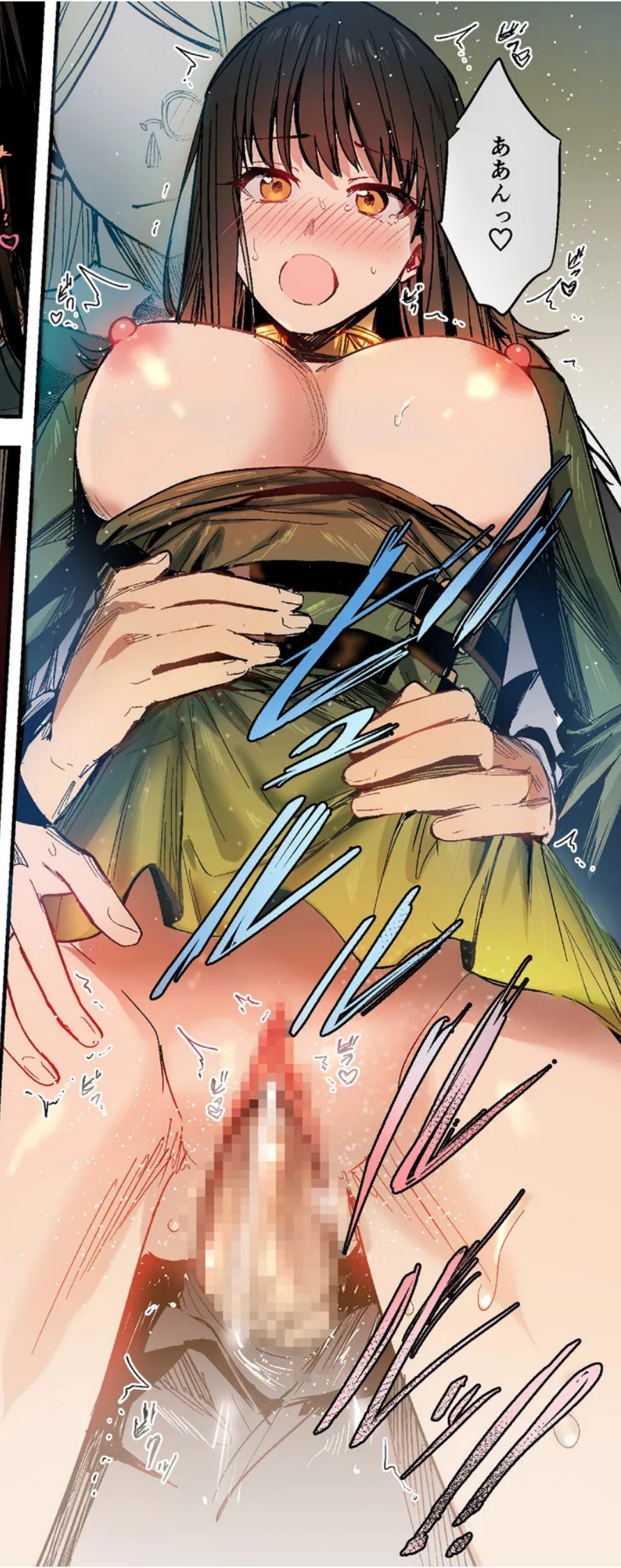
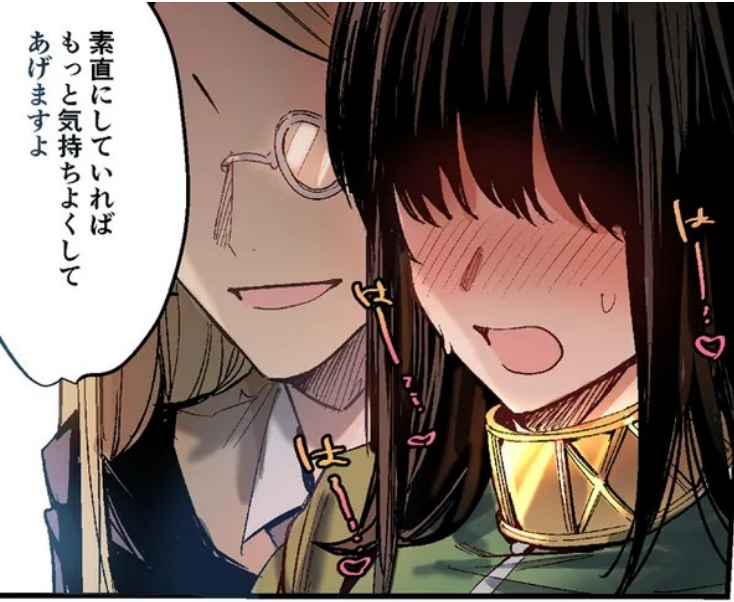
私を...



あんっ♡



分かったよ  
アレクシア





えっ…!?

その首輪は  
装着者の記憶を  
消去することが  
できるのです

本当の力?

はい  
その前に  
首輪の本当の力を  
解放させます



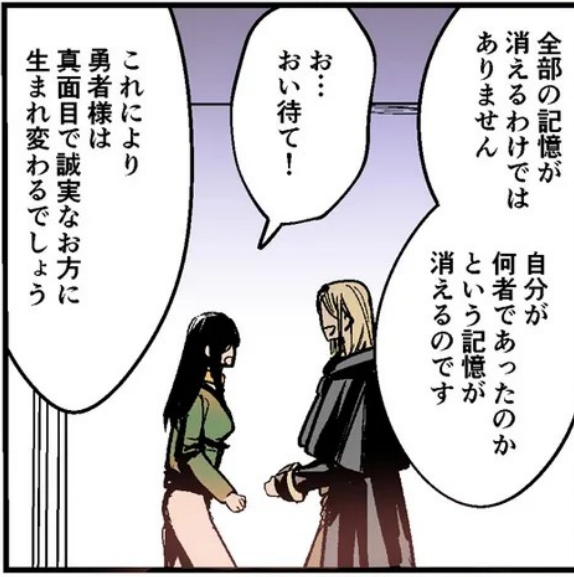
本当ですか!?

それでは  
首輪を外して  
あげましょう



やめ…

やっ…



お…  
おい待て!

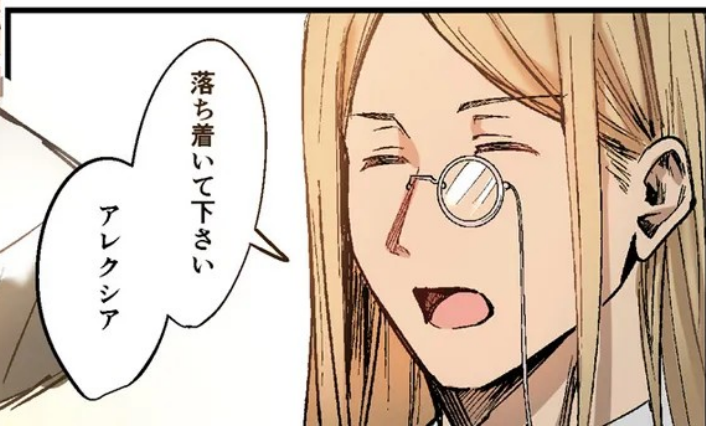
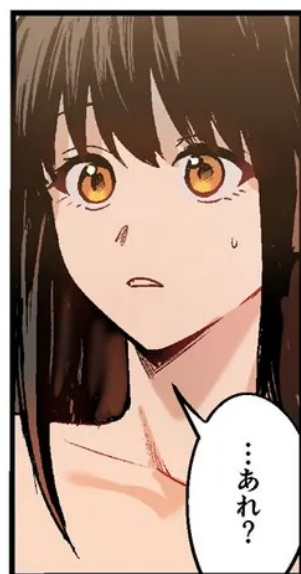
全部の記憶が  
消えるわけでは  
ありません  
自分が  
何者であったのか  
という記憶が  
消えるのです

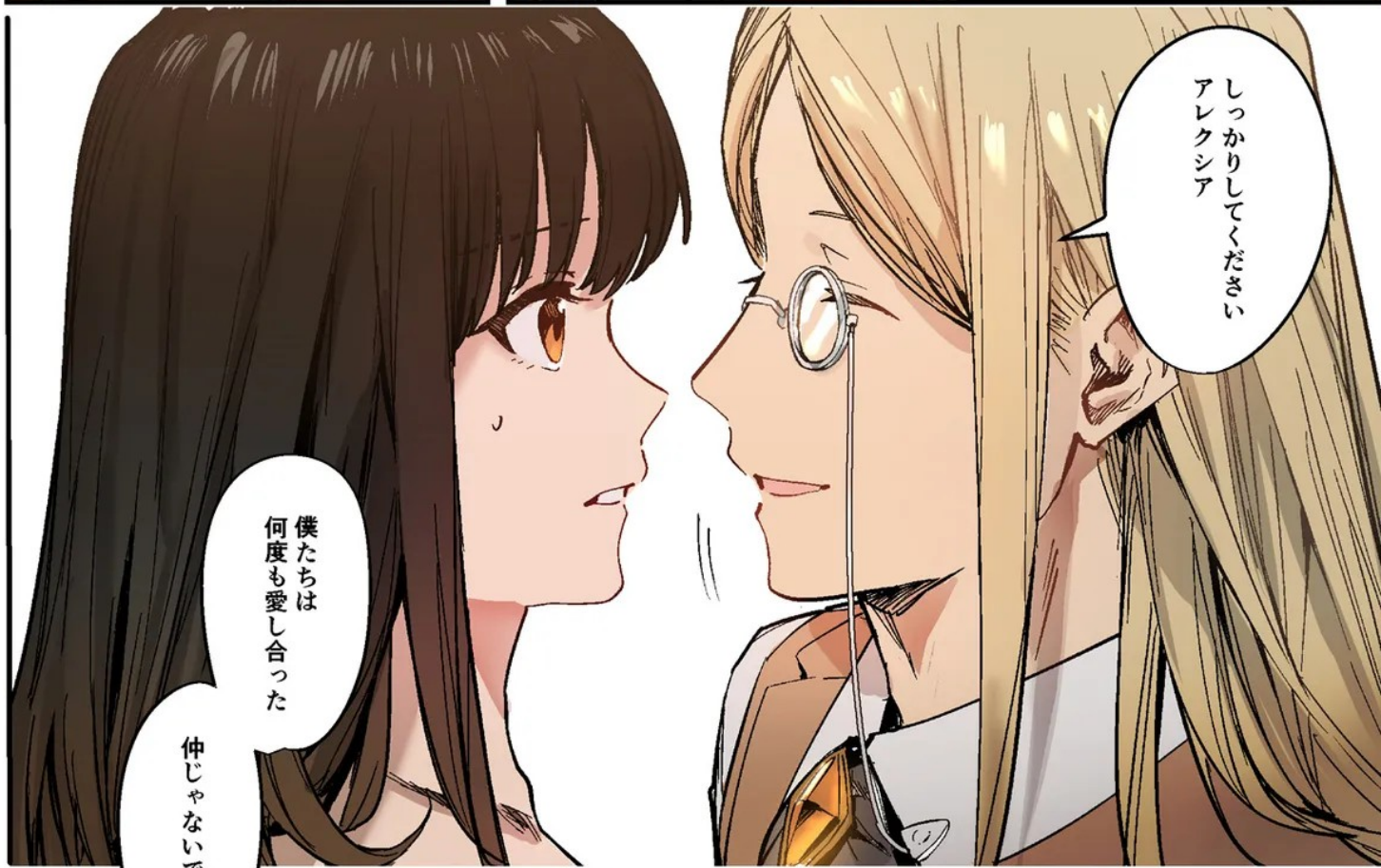
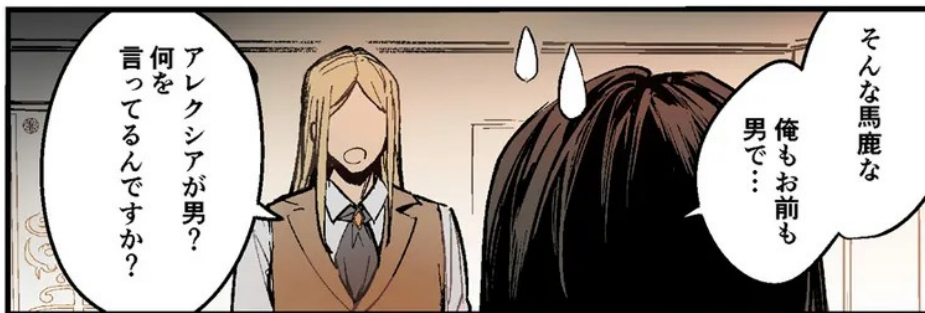
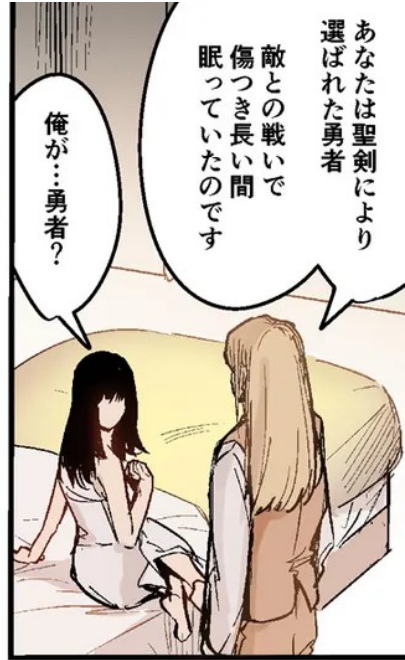
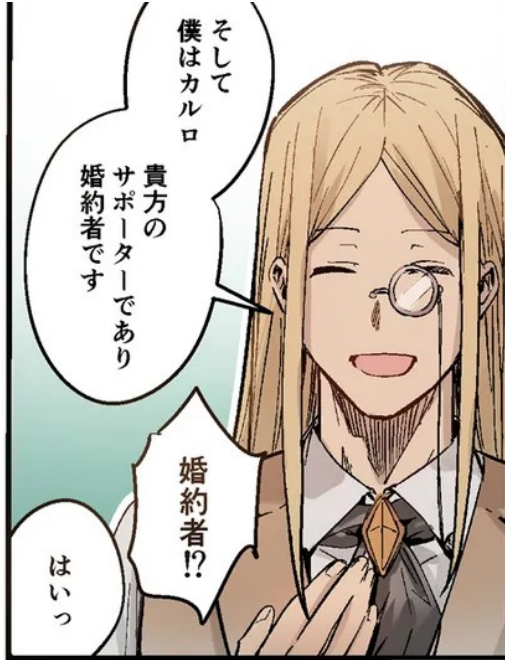
これにより  
勇者様は  
真面目で誠実なお方に  
生まれ変わるでしょう

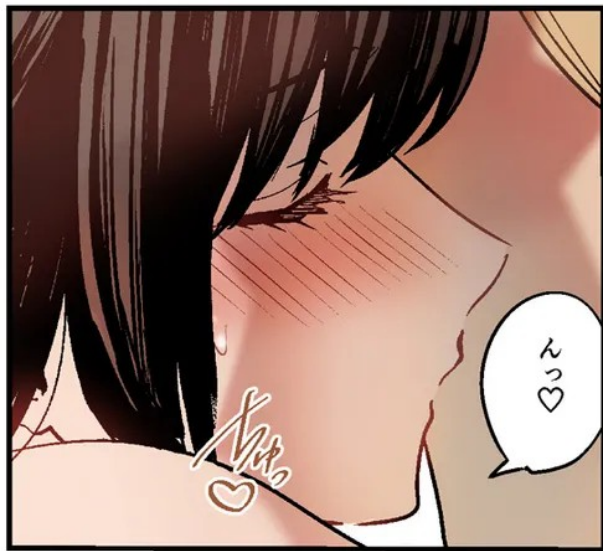
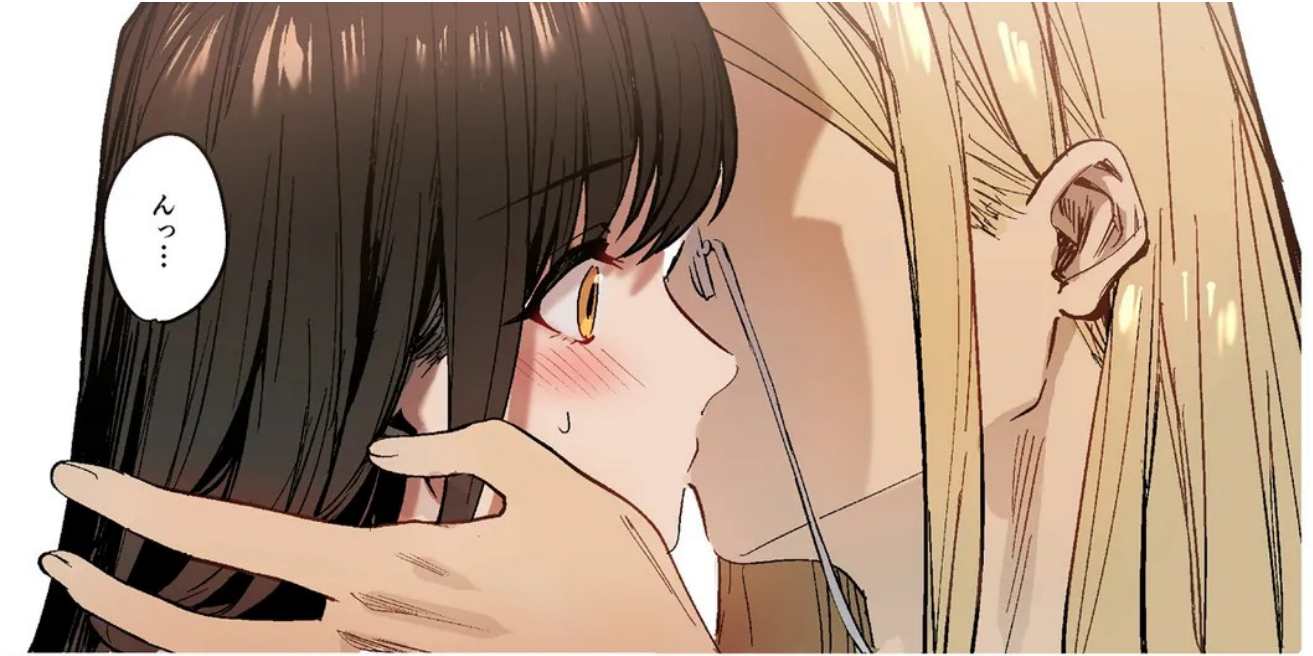


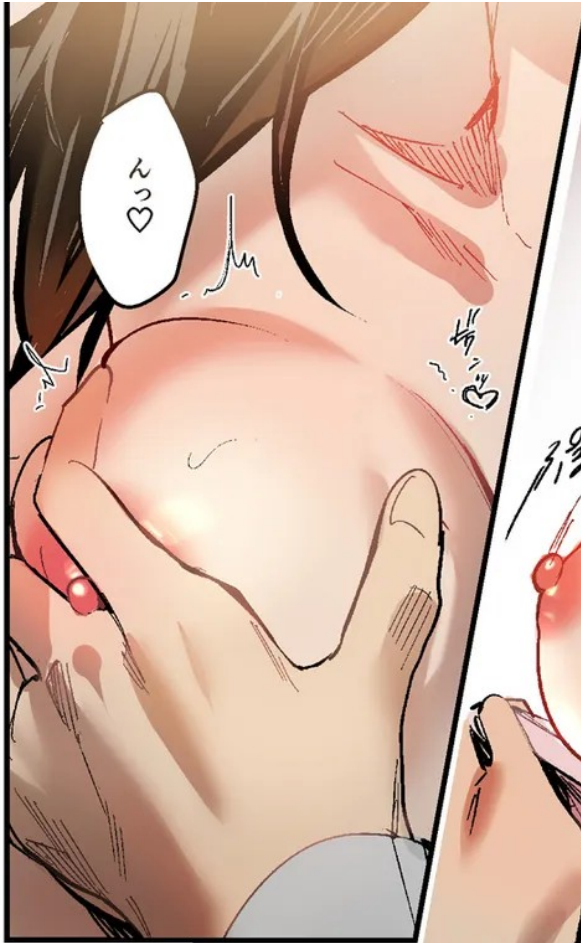
っ  
!!!







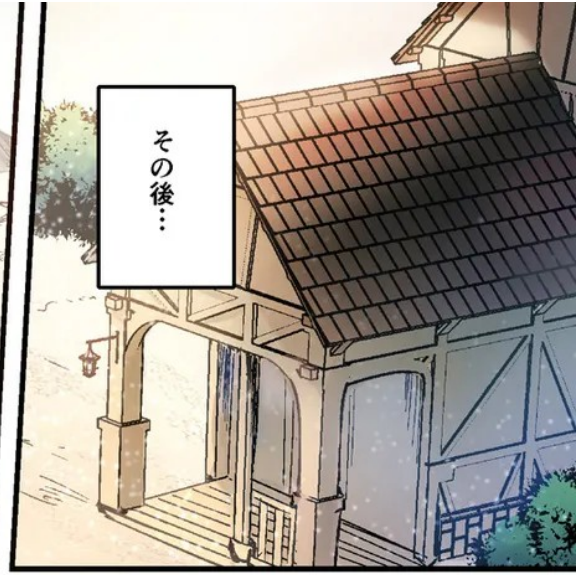








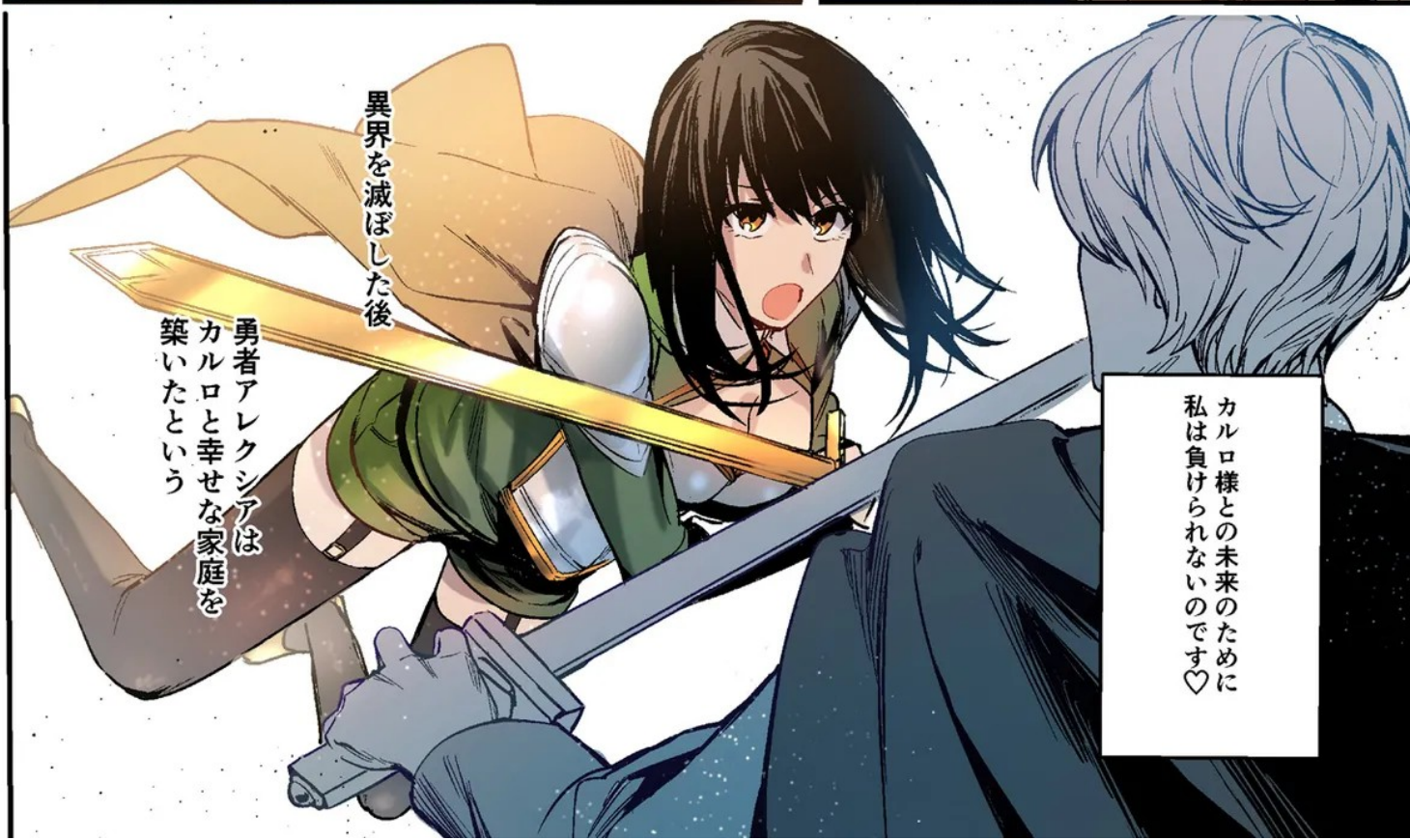
はっ♡



その後…



それでは  
今も前線をお願いますね



異界を滅ぼした後

勇者アレクシアは  
カルロと幸せな家庭を  
築いたという

カルロ様との未来のために  
私は負けられないのです♡